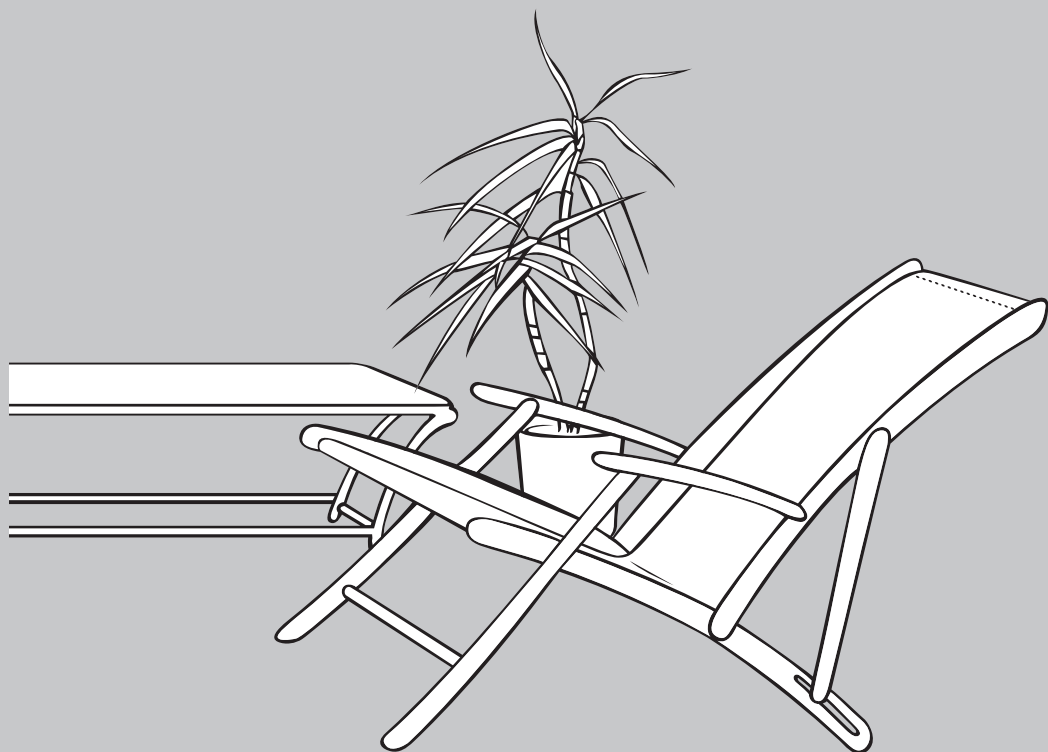
KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

UD-A77

取扱説明書（操作編）

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。

◉メモリカードスロット搭載

パソコンを使用しなくても、簡単操作でメモリカードへ録音できます。

大容量のメモリカードを用意すれば、たくさんのCDなどをどんどん録音でき、お部屋もすっきり。

入れ替える必要もないので手間なく音楽を楽しめます。

◉ケンウッド製
デジタルオーディオプレーヤーと連動

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤーを接続※すれば本機のリモコンで操作が思いのままに行えます。

デジタルオーディオプレーヤーの曲をより良い音で楽しめるほか、簡単操作で録音も可能。

家でも外出先でも楽しみ方が広がります。

圧縮された音楽も高音質に再生する

◉SUPREME機能

MP3やWMAの圧縮によって失われた高音域を推測、補間することで限りなく原音に近いリアルなサウンドを甦らせる、ケンウッド独自の技術です。

圧縮された音楽もワンランク上の音質で。

◉7バンドイコライザー搭載

本格的な7バンドイコライザーで、重低音域から超高音域までの音質を調整できます。ジャンルやお好みに合わせて調整した設定は3種類まで登録できます。

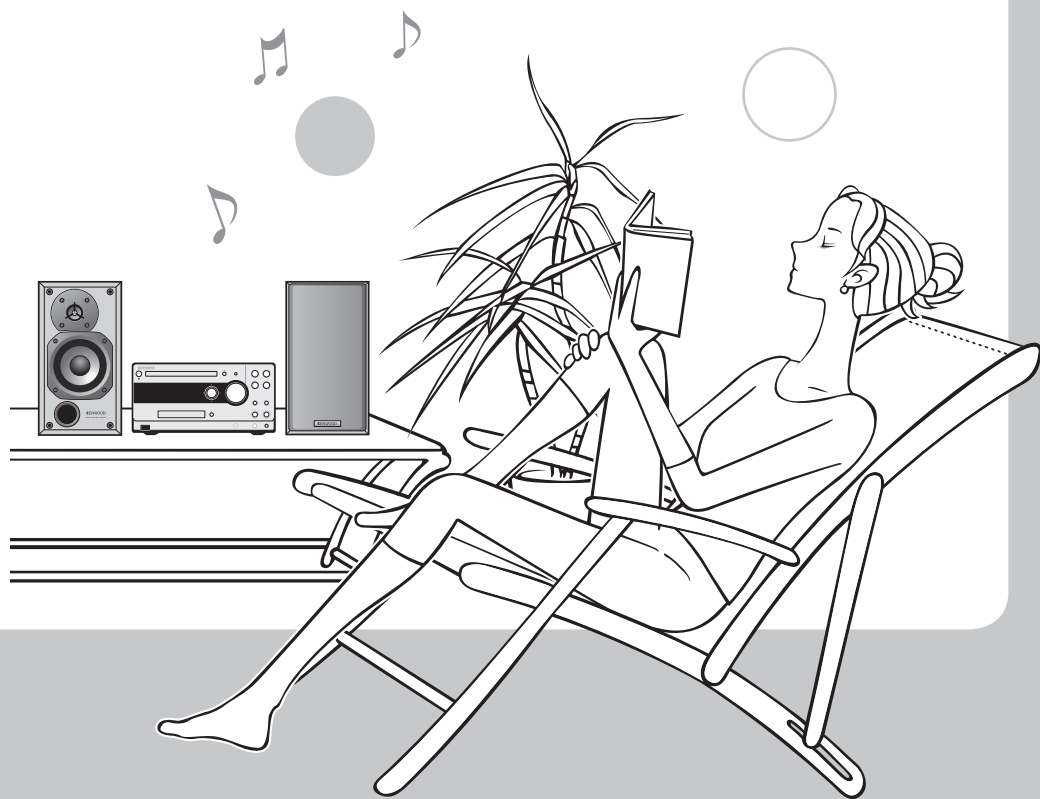
その他の便利な機能

- ワンタッチエディット録音
- TWIN REC
- グループ機能
- おやすみタイマー
- タイマー録音、再生
- MDロングプレイモード対応

※D-AUDIO IN端子への接続には専用ケーブル PNC-150が必要です。

パソコンいらずで簡単、快適！

すぐに始まる、楽しみ方広がる

コンパクトハイファイ
コンポーネントシステム **UD-A77**

こんなことができます

もくじ（操作編）

USBオーディオプレーヤーを使って

メモリカードで

聞く

本機/リモコンで操作が可能（USBオーディオプレーヤーを使って）

録り貯めた曲を楽しむ（メモリカードで）

録音する

録音も簡単操作でOK（USBオーディオプレーヤーを使って）

どんどん録り貯めて楽しめる（メモリカードで）

編集する

編集も思いのまま（USBオーディオプレーヤーを使って）

簡単編集機能（メモリカードで）

もっと使いこなす

録音の設定をする

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。

困ったときは

CDで

いつものCDも聞き方を変えて

MDで

MDも楽しめる

TWIN RECほか、多彩な録音

充実の編集機能

ラジオで 外部入力で

音質の設定をする

本機の設定をする

曲を聞く

USBオーディオプレーヤーの曲を聞く

1 再生する

USB ►/II

USB ►/II

※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「＊」と表示されます。

※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■曲を選ぶ場合は

フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■再生モードを選ぶ場合は

P.MODE

押すごとに切り換わります。

点灯 ▶ 消灯

点灯：フォルダ再生モード（選択したフォルダ内の曲ファイルを再生します）

消灯：全曲再生モード（USBオーディオプレーヤー内の全曲ファイルを再生します）

■停止するには

AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

■一時停止するには

USB ►/II　MEMORY ►/II

もう一度押すと再開します。

USB ►/II　MEMORY ►/II

もう一度押すと再開します。

関連機能｜繰り返し聞く（リピート再生） P13｜イントロで曲を探す（イントロスキャン） P18

メモリカードの曲を聞く

1 再生する

MEMORY ►/II

※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「＊」と表示されます。

MEMORY ►/II

※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■曲を選ぶ場合は

フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■再生モードを選ぶ場合は

P. MODE

押すごとに切り換わります。

点灯	消灯
フォルダ再生モード（選択したフォルダ内の曲ファイルを再生します）	全曲再生モード（メモリカード内の全曲ファイルを再生します）

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードに曲ファイルが入っている場合は、USB►/IIまたはMEMORY►/IIを押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

再生中に他の音源に切り換えた場合は、再度MEMORY ►/II またはUSB ►/II を押すと切り換える前に再生していた所から再生を再開します。

■曲を飛ばすには

■早送り/早戻しするには

再生中に押し続けます。

再生中に倒し続けます。

■好きな曲から聞くには（リモコンのみ）

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+100 0 +10

F023なら ×2回、3

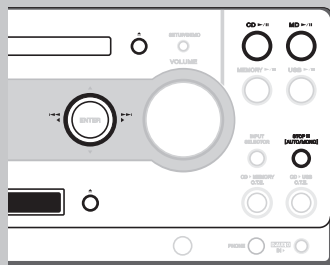
F102なら 、2

お好みの音質で聞く P20 | ディスプレイ表示切り換え P80 | 音質の設定をする P90~P93

曲を聞く

CDの曲を聞く

1 CDを入れる

❶   トレイを開きます。

❷ CDを入れます。

❸ トレイを閉じます。

※CDを入れると が点灯します。

2 再生する

CD ►/II

CD ►/II

※CD-TEXT対応のディスクの場合、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。英数字にのみ対応しています。それ以外の文字はスペースになります。

※再生できるディスクについては「お使いになる前に編」22ページ参照。

Hint あらかじめディスクが入っている場合は、CD ►/II を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

■停止するには

AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

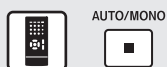
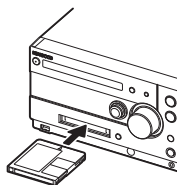
■一時停止するには

CD ►/II　MD ►/II

もう一度押すと再開します。

CD ►/II　MD ►/II

もう一度押すと再開します。

関連機能 | 順不同に聞く（ランダム再生） P12 | 繰り返し聞く（リピート再生） P13

MDの曲を聞く

MDを入れる

MDを入れます。

※MDを入れると MD が点灯します。

※MDにディスクタイトルが入っているときは、ディスクタイトルが表示されます。

2 再生する

※トラックタイトルが入っているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

あらかじめディスクが入っている場合は、MD ►/II を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

MDの曲は、録音したときの録音モードに従って再生されます。録音モードについては83ページ参照。

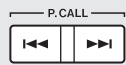
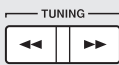
■曲を飛ばすには

■早送り/早戻しするには

再生中に押し続けます。

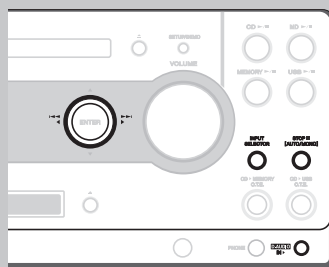
再生中に倒し続けます。

■好きな曲から聞くには(リモコンのみ)

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+100 0 +10

23曲目なら +10 ×2回、3

102曲目なら +100、2

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生） P14 | グループ再生する P16 | お好みの音質で聞く P20 | グループを編集する P62~P64 | ディスプレイ表示切り換え P80

外部機器の曲を聞く（AUX接続）
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く

外部機器の曲を聞く（AUX接続）

1 接続する

※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照 ）

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

2 AUX（外部入力）に切り換える

FM/AM/AUX TUNER　押すごとに切り換わります。

INPUT SELECTOR　押すごとに切り換わります。

3 再生する

接続した外部機器を再生します。

※同じボリュームでも外部機器の音が、その他の音源より大きく、または小さく感じた場合は入力レベルを調整してください。（66ページ参照）

Hint　リモコンのFM/AM/AUX TUNERキーを押すだけで本機の電源がONになります。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーその他の操作方法

※専用ケーブル PNC-150 で接続している場合のみ行えます。

■停止するには

関連機能　お好みの音質で聞く P20　外部機器の入力レベルを調整する P66

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く

1 D.AUDIO IN端子に接続する

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照）

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

再生可能なケンウッド製
デジタルオーディオプレーヤー

HDDオーディオプレーヤー	メモリオーディオプレーヤー
HD20GA7 HD30GA9 HD30GB9	M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7 M512C5

2006年9月現在

2 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

3 再生する

音源が切り換わり
再生が始まります。

押すごとに
切り換わります。

FM ▶ AM ▶ AUX ▶ D.AUDIO

※専用ケーブル PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

リモコンのD.AUDIO ►/II キーを押すだけで本機の電源がONになります。
本機へ接続している間はケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。

■一時停止するには

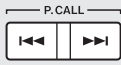
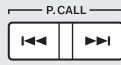
もう一度押すと再開します。

■曲を飛ばすには

■早送り/早戻しするには

再生中に押し続けます。

再生中に倒し続けます。

音質の設定をする P90~P93

順不同に聞く（ランダム再生）
繰り返し聞く（リピート再生）

ランダム再生

1 音源を切り換える

CD ►/II　または　MD ►/II

CD ►/II　または　MD ►/II

2 ランダム再生する

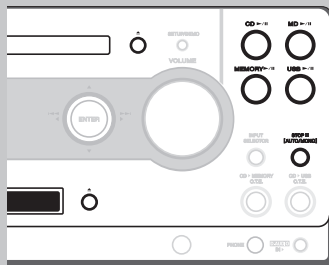
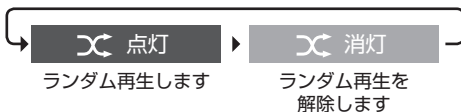
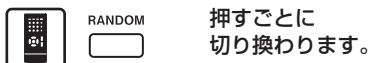
RANDOM

押すごとに
切り換わります。

点灯：ランダム再生します → 消灯：ランダム再生を解除します

■ランダム再生モードを解除するには

RANDOM

ランダム再生中に再度RANDOMキーを押して、を消灯させます。

※STOPキーを押しても、ランダム再生モードを解除できます。STOPキーで解除した場合は再生も停止します。

Hint

ランダム再生中にREPEATキーを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

ランダム再生中は、再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

関連機能　好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生）P14｜グループ再生する P16

リピート再生

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II または CD ►/II または MD ►/II

USB ►/II または MEMORY ►/II または CD ►/II または MD ►/II

2 リピート再生する

REPEAT

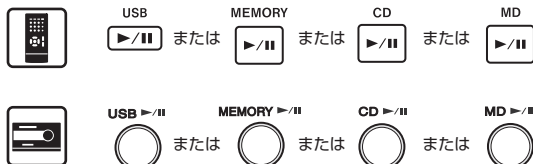
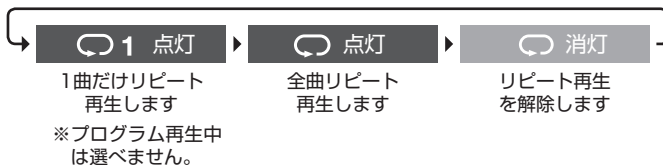
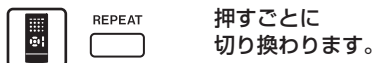
押すごとに
切り換わります。

⟳1 点灯	⟳ 点灯	⟳ 消灯
1曲だけリピート再生します ※プログラム再生中は選べません。	全曲リピート再生します	リピート再生を解除します

■リピート再生モードを解除するには

REPEAT

リピート再生中に再度
REPEATキーを押して
⟳を消灯させます。

Hint

プログラム再生中にREPEATキーを押すと選んだ曲を繰り返し再生します。

グループ再生中にREPEATキーを押すと選んでいるグループの曲を
繰り返し再生します。グループについては62ページ参照。

フォルダ再生モード中にREPEATキーを押すと選んでいるフォルダの曲
ファイルを繰り返し再生します。（6ページ参照）

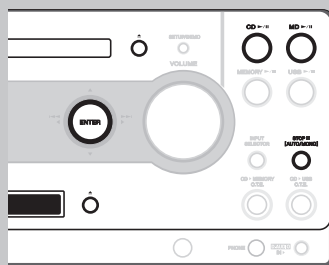
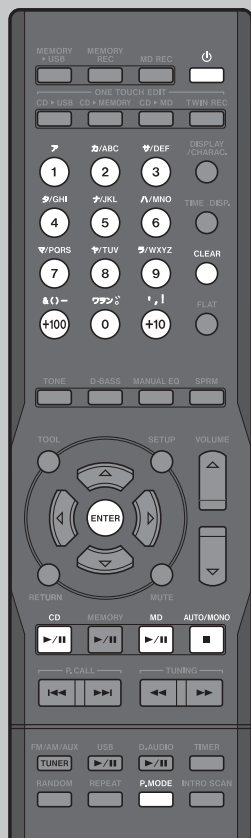
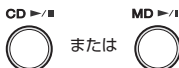
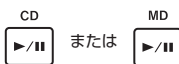
グループを編集する P62~P64

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生）

CDまたはMDの場合

1 音源を切り換える

CD ►/II または MD ►/II

CD ►/II または MD ►/II

2 再生を停止する

AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

3 プログラムモードを選ぶ

P.MODE

押すごとに
切り換わります。

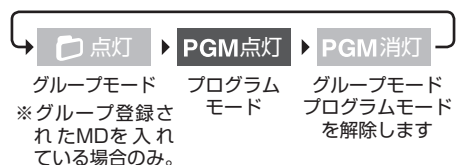
CDの場合

PGM 点灯 ► PGM 消灯

PGM 点灯	PGM 消灯
プログラムモード	プログラムモードを解除します

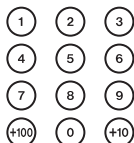
MDの場合

点灯 ► PGM点灯 ► PGM消灯

点灯	PGM点灯	PGM消灯
グループモード ※グループ登録されたMDを入れている場合のみ。	プログラムモード	グループモードプログラムモードを解除します

■曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから
手順4の操作を行います。

関連機能｜曲を聞く P8｜曲を聞く P9｜

4 聞きたい曲を選ぶ

曲を選ぶ。

※曲を選んでから20秒以内にENTERキーを押してください。

※入力を間違えた場合は、CLEARキーを押してからもう一度入力してください。

確定する。

CD T04 → P01
PGM SET

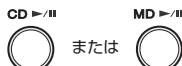
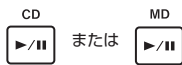
例）CDの4曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合。

5 2曲以上選ぶときは手順4を繰り返す

※32曲まで曲を選ぶことができます。さらに曲を選ぼうとすると [PGM FULL] が表示されます。

6 再生する

CD ►/II または MD ►/II

CD ►/II または MD ►/II

電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したディスクを取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

■プログラムした曲を取り消すには

CLEAR

再生を停止し、その後CLEARキーを押します。

※押すごとに、プログラムした最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

■プログラムモードを解除するには

P. MODE

再生を停止し、その後P.MODEキーを押してPGMを消灯させせます。

順不同に聞く（ランダム再生） P12 | 繰り返し聞く（リピート再生） P13

グループ再生する

MDのみ

聞きたいグループの先頭の曲に簡単にスキップし、選んだグループの曲だけを再生します。

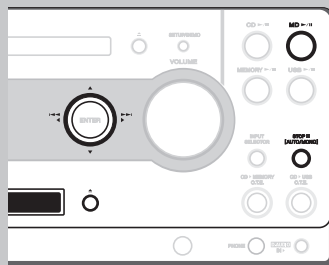
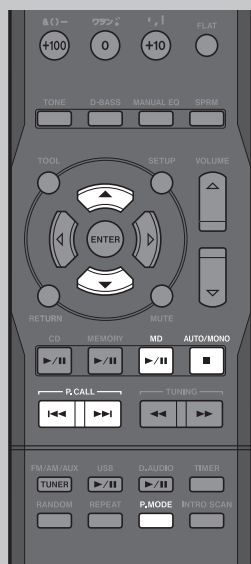
※グループ機能に対応した他のMD機器でグループ登録、編集されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。

準備

あらかじめグループ登録されたMDを入れてください。(62ページ参照)

1 音源をMDに切り換える

MD ►/II

MD ►/II

2 再生を停止する

AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

3 グループモードを選ぶ

P. MODE

押すごとに切り換わります。

点灯 → PGM点灯 → PGM消灯

- 点灯：グループモード
  ※グループ登録されたMDを入れている場合のみ。
- PGM点灯：プログラムモード
- PGM消灯：グループモード プログラムモードを解除します

■グループモードを解除するには

P. MODE

再生を停止し、その後P.MODEキーを押して を消灯させます。

関連機能 曲を聞く P9 | 順不同に聞く（ランダム再生） P12

聞きたいグループを選ぶ

MD T001-T003
GROUP01

例）1曲目から3曲目までを
グループに設定した
グループ1を選択した場合。

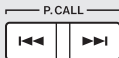
5 再生する

選んだグループの最小
トラックナンバーの曲
から再生されます。

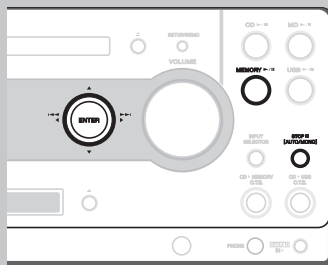
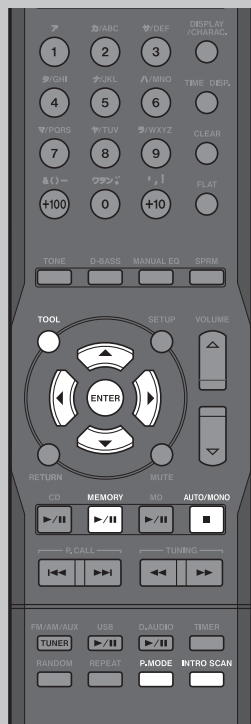
グループ再生中にRANDOMキーを押すと、選んでいるグループの曲を順不同に再生します。（12ページ参照）

グループ再生中にREPEATキーを押すと、選んでいるグループの曲を繰り返し再生します。（13ページ参照）

■曲を飛ばすには

繰り返し聞く（リピート再生） P13
グループを編集する P62~P64

イントロで曲を探す（イントロスキャン）

メモリカードのみ

曲ファイルを頭から10秒間次々に再生します。メモリカードの中から探したい曲ファイルを見つけるのに便利な機能です。

1 音源をメモリカードに切り換える

MEMORY ►/II

MEMORY ►/II

2 再生モードを選ぶ

P.MODE

押すごとに
切り換わります。

点灯	消灯
フォルダ再生モード（選択したフォルダ内の曲ファイルをイントロスキャンします）	全曲再生モード（メモリカード内の全曲ファイルをイントロスキャンします） ※全曲再生モードの場合は手順4へ。

3 フォルダを選ぶ

AL_A01
AL_A02

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

STOP ■
［AUTO/MONO］

※再生も停止します。

※すべての曲ファイルのイントロスキャンが終了した場合も自動で停止します。

関連機能 | 曲を聞く P 7 | メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する P36 |

イントロスキャンを始める

INTRO SCAN

選択したフォルダの最初の曲ファイルからそれぞれ10秒ずつ再生されます。

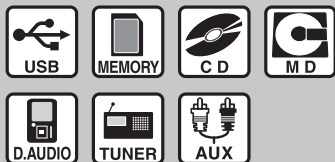
5 探していた曲が見つかったら

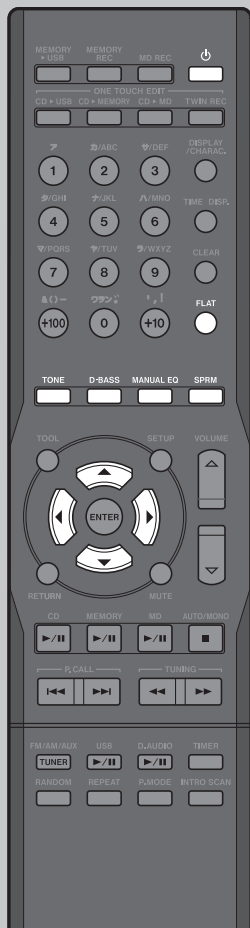
通常再生に切り換わります。

探していた曲ファイルの編集や転送はイントロスキャン中でも可能です。編集したい場合はTOOLキーを、転送したい場合はMEMORY ▶USBキーをそれぞれイントロスキャン中に押してください。編集、転送中はイントロスキャンが一時停止しますが、編集、転送後は次の曲からイントロスキャンが再開します。

■ TOOLからイントロスキャンをするには

TOOL
INTRO SCAN
SCAN START
曲を消す P46 | 名前の変更 P58

お好みの音質で聞く

音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

SOUND SETUPで調整した音質のON/OFFを切り換えられます。
（90 ～ 93ページ参照）

低音を強調する（D-BASS）

D-BASS

押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**D-BASS**が点灯します。

■ レベルを調整するには

1 ～ 10の範囲で1ずつ調整できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。（90ページ参照）

より原音に近い音で楽しむ（SUPREME）

USBオーディオプレーヤー、メモリカードのみ。

SPRM

押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**SPRM**が点灯します。

※SOUND SETUPからも調整できます。（93ページ参照）

■ SUPREME（サプリーム）とは

オーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し、補間することで、リアルなサウンドを甦らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

関連機能 音質の設定をする P90~P93

低音と高音を強調する（TONE）

TONE

押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**TONE** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。

■レベルを調整するには

高音または低音を選んで

TONE ON
BASS +4

TONE ON
TREBLE +4

調整する

+8 ～ −8の範囲で2ずつ調整できます。

+8 ～ −8の範囲で2ずつ調整できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。(91ページ参照)

お好みの音質に切り換える（MANUAL EQ）

本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、お好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類（USER 1～3）まで登録できます。

MANUAL EQ

押すごとに切り換わります。

※ONにすると**EQ** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。

OFF ▶ USER 1 ▶ USER 2 ▶ USER 3

OFF	USER 1	USER 2	USER 3
MANUAL EQを解除します	USER 1の設定	USER 2の設定	USER 3の設定

※あらかじめUSER1 ～ 3の設定を登録しておく必要があります。（92ページ参照）

D-BASS、TONE、MANUAL EQの設定を一時的に無効にする（FLAT）

FLAT

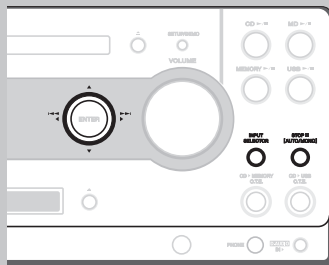
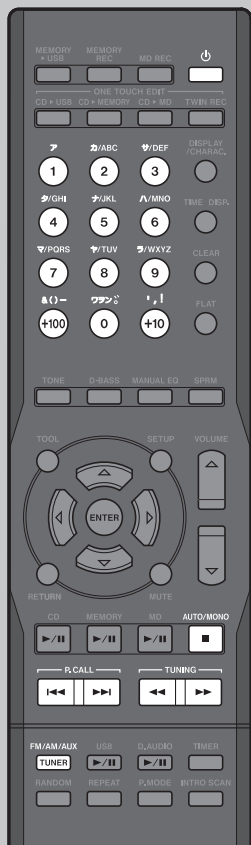
押すごとにFLATと設定済みのもとの音質が切り換わります。

※ONにすると**D-BASS**、**TONE** 、**EQ**
が点灯していれば消灯します。

ディスプレイは各音質のON/OFFを切り換えた5秒後、レベル調整を行った20秒後にもとの表示に戻ります。

選択などの操作は本体でも行うことができます。

ラジオを聞く

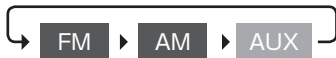
ラジオのみ

1 FMまたはAMに切り換える

FM/AM/AUX TUNER

押すごとに
切り換わります。

INPUT SELECTOR

押すごとに
切り換わります。

FM ▶ AM ▶ AUX ▶ D.AUDIO

2 放送局を選ぶ

記憶させてある放送局から選ぶ場合（プリセットコール）

P.CALL

TUNER P03

例）プリセット番号P03を
選択している場合。

記憶させてある放送局を、プリセット番号（P01 ～ P40）から選びます。

※放送局を記憶させる場合（オートプリセット/マニュアルプリセット）は24、26ページ参照。

※押したままにすると、放送局を早く切り換えることができます。

■数字キーで放送局（プリセット番号）を選ぶには

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+100 0 +10

P13なら +10 、3

P32なら +10 ×3回、2

関連機能 お好みの音質で聞く P20 | 放送局を記憶させる P24~P27

記憶させていない放送局を選ぶ場合（オート選局またはマニュアル選局）

オート選局するか、マニュアル選局するかを選びます。

※押すごとに切り換わります。

オート選局（電波状況の良いときに選びます）

マニュアル選局（電波状況の悪いときに選びます）

放送局を選びます。

■ オート選局の場合は

押すごとに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■ マニュアル選局の場合は

受信するまで、または受信したい周波数になるまで押してください。
押し続けると周波数が早送りになります。

リモコンのFM/AM/AUX TUNER キーを押すだけで本機の電源がONになります。
オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。
オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。
受信すると **TUNED** が点灯します。ステレオ受信の場合は **STEREO** が点灯します。

ディスプレイ表示切り換え P80

放送局を記憶させる

ラジオのみ

準備

FMまたはAMに切り換えてください。

※他の音源が選ばれていると、放送局を記憶させることができません。

※放送局はFM、AM合わせて最大40局まで記憶させることができます。

※放送局名は「放送局名自動表示リスト」に載っている放送局のみに対応しています。

※ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。

放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

1 TOOLキーを押し［AUTO PRESET］を選び決定する

AUTO PRESET
EXIT

2 お住まいの都道府県名を選ぶ

ｹﾝﾒｲｾｯﾃｲ
ﾄｳｷｮｳ

※都道府県名はアイウエオ順に並んでいます。

※お住まいの都道府県が変わった場合はもう一度記憶させてください。

3 放送局を記憶させる

※ディスプレイに［AUTO PRESET］が点滅して放送局が記憶されます。記憶後はプリセット番号P01を受信した状態になります。

※すでに記憶されている周波数も書き換えることができます。

■希望の放送局名が表示されない場合は

P.MODE

地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されない場合は、リモコンのP.MODEキーを押すことにより別の放送局名に切り換えることができます。

関連機能 ラジオを聞く P22

■放送局名自動表示リスト

※放送局名は変更されることがあります。

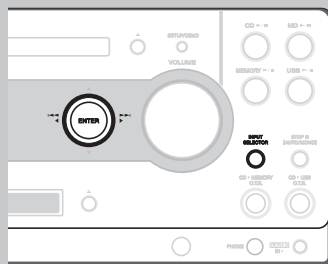
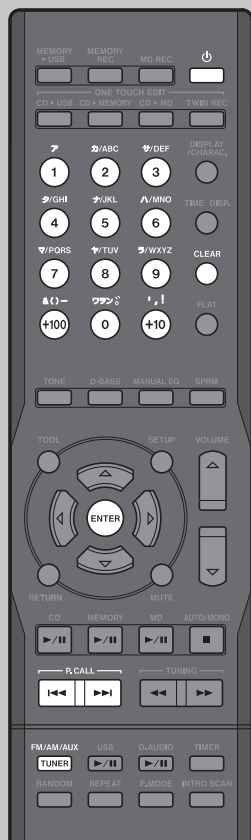
都道府県名	放送局	表示名
	NHK-FM	NHK-FM
愛知県	㈱エフエム愛知	FM AICHI
愛知県	㈱ZIP-FM	ZIP-FM
愛知県	愛知国際放送㈱	RADIO-i
青森県	㈱エフエム青森	FMｱｵﾓﾘ
秋田県	㈱エフエム秋田	FMｱｷﾀ
石川県	㈱エフエム石川	FM ISHIKAWA
岩手県	㈱エフエム岩手	FM IWATE
愛媛県	㈱エフエム愛媛	FMｴﾋﾒ
大分県	㈱エフエム大分	FM OITA
大阪府	㈱FM802	FM802
大阪府	㈱エフエム大阪	fm osaka
大阪府	関西ｲﾝﾀｰﾒﾃﾞｨｱ㈱	FM CO·CO·LO
岡山県	岡山エフエム放送㈱	FMｵｶﾔﾏ
沖縄県	AFN沖縄	AFNｵｷﾅﾜ
沖縄県	㈱エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一	NHKﾗｼﾞｵ1
香川県	㈱エフエム香川	Fm FMｶｶﾞﾜ
鹿児島県	㈱エフエム鹿児島	ﾐｭ-FM
東京都	ｴﾌｴﾑｲﾝﾀｰｳｪｰﾌﾞ㈱	InterFM
神奈川県	横浜エフエム放送㈱	Fm Yokohama
岐阜県	岐阜エフエム㈱	Radio 80
京都府	㈱エフエム京都	FMｷｮｳﾄ
熊本県	㈱エフエム熊本	FMK
群馬県	㈱エフエム群馬	FM GUNMA
	放送大学	ﾎｳｿｳﾀﾞｲｶﾞｸ
高知県	㈱エフエム高知	FM KOCHI
埼玉県	㈱FM NACK5	NACK5
佐賀県	㈱エフエム佐賀	FMｻｶﾞ
滋賀県	㈱エフエム滋賀	e-radio
静岡県	静岡エフエム放送㈱	K-MIX
島根県	㈱エフエム山陰	fm-sanin
千葉県	㈱ベイエフエム	bayfm
東京都	㈱J-WAVE	J-WAVE
東京都	㈱エフエム東京	TOKYO FM
徳島県	㈱エフエム徳島	FMﾄｸｼﾏ
栃木県	㈱エフエム栃木	RADIO BERRY
富山県	富山エフエム放送㈱	FMﾄﾔﾏ
富山県	北日本放送㈱	KNBﾗｼﾞｵ
長崎県	㈱エフエム長崎	Smile-FM
長野県	長野エフエム放送㈱	FM NAGANO
新潟県	㈱エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
新潟県	新潟県民エフエム放送㈱	FM PORT
兵庫県	㈱Kiss-FM KOBE	Kiss-FM
広島県	広島エフエム放送㈱	ﾋﾛｼﾏFM
福井県	福井エフエム放送㈱	FMFUKUI
福岡県	㈱エフエム九州	CROSS FM
福岡県	㈱エフエム福岡	fm fukuoka
福岡県	㈱九州国際エフエム	Love FM
福島県	㈱エフエム福島	ﾌｸｼﾏFM
北海道	㈱エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
北海道	㈱エフエム北海道	AIR-G'
三重県	三重エフエム放送㈱	Radio3 FMﾐｴ
宮城県	㈱エフエム仙台	Date fm
宮崎県	㈱エフエム宮崎	JOY FM
山形県	㈱エフエム山形	BOY FM
山口県	㈱エフエム山口	FMﾔﾏｸﾞﾁ
山梨県	㈱エフエム富士	FM-FUJI

オートプリセットで記憶させることができる放送局は、手順2で設定したお住まいの都道府県と隣接する都道府県の放送局のみです。それ以外の放送局はマニュアルプリセット（26ページ参照）で記憶させてください。

放送局名自動表示リスト以外の放送局はマニュアルプリセット（26ページ参照）で記憶させてください。

電波状況が悪く **TUNED** が点灯していない場合は、放送局名は表示されません。

放送局を記憶させる（つづき）

ラジオのみ

1 記憶させたい放送局を選ぶ

※オート選局またはマニュアル選局で
放送局を選びます。（23ページ参照）

2 選んだらENTERキーを押す

3 記憶させたいプリセット番号（P01 ～ P40）を選ぶ

※すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

4 放送局を記憶させる

※続けて記憶させたい場合は、手順1 ～ 4を繰り返してください。

■数字キーで放送局（プリセット番号）を選ぶには

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+100 0 +10

P13なら +10、3

P32なら +10 ×3回、2

関連機能 ラジオを聞く P22

記憶させた放送局を消す

1 消したい放送局をプリセット番号から選ぶ

※プリセット番号P40は消せません。

2 選んだらCLEARキーを押す

TUNER P03
CLEAR?

ディスプレイに[CLEAR?]と20秒間表示されます。

3 放送局を消す

ディスプレイに[CLEAR?]と表示されている間にENTERキーを押してください。

※20秒間操作されなかった場合はもとの表示に戻ります。

■ 放送局を消すと

例）P11の■■局を消す

後ろのプリセット番号が前に詰まる。

空いてしまうプリセット番号には自動的に76MHzが記憶されます。

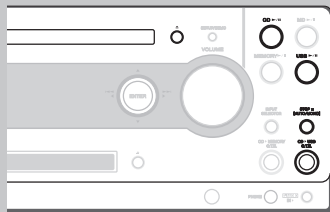
CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)

USBオーディオプレーヤーの場合

準備

USBオーディオプレーヤー、CDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、メモリカードを挿入しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。

全曲録音する

1 録音する

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
DATA WRITING

USBオーディオプレーヤーが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中USBオーディオプレーヤーがいっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウガ アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

関連機能 | 好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム再生) P14 | 曲を消す P46

1曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する

CD ▶ USB

再生中の曲の頭から録音が始まります。

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。（14ページ、手順1～5参照）

2 録音する

CD ▶ USB

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

CDからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。（75ページ参照）

CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。（89ページ参照）

■こんなときは

短時間で録音したい ………… 84ページ参照（録音スピードを設定する）

USBオーディオプレーヤー内の情報を見たい ………… 77ページ参照

フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 46ページ参照

フォルダを整理したい ………… 78ページ参照

フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ………… 58ページ参照

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)

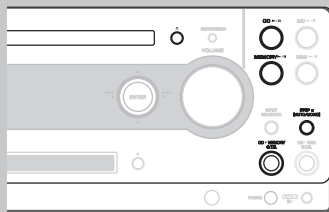
メモリカードの場合

準備

メモリカード、CDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82 ～ 89ページ参照。

全曲録音する

1 録音する

CD ▸ MEMORY

CD ▸ MEMORY O.T.E.

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

Hint メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ] が表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
DATA WRITING

メモリカードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

ﾛｸｵﾝ ﾃｲｼ
ﾖｳﾘｮｳｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

関連機能 好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム再生) P14 曲を消す P46

1曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する

再生中の曲の頭から録音が始まります。

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。(14ページ、手順1～5参照)

2 録音する

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

CDからメモリカードへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。(75ページ参照)
CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。(89ページ参照)

■こんなときは

短時間で録音したい ……… 84ページ参照(録音スピードを設定する)
メモリカード内の情報を見たい ……… 77ページ参照
フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 46ページ参照
フォルダを整理したい ……… 78ページ参照
フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ……… 58ページ参照

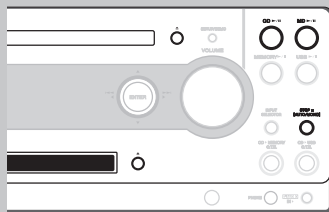
CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)

MDの場合

準備

CD、MDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには 82 ～ 89ページ参照。

全曲録音する

1 録音する

CD ▸ MD

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■ ※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO] ※一時停止はできません。

MDにLPモード(LP2、LP4)で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生できません。(83ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
MD WRITING

MDが停止して、[MD WRITING] と表示されます。

※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

関連機能 好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム再生) P14 曲を消す P48

1曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する

再生中の曲の頭から録音が始まります。

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。（14ページ、手順1〜5参照）

2 録音する

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

CDからMDへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。（75ページ参照）

CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。（89ページ参照）

いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音することはできません。

■こんなときは

短時間で録音したい ………………………… 84ページ参照（録音スピードを設定する）

ディスクタイトルを入力したい ………… 60ページ参照

トラックタイトルを入力したい ………… 60ページ参照

グループの設定、解除、編集をしたい … 62ページ参照

■録音中MDがいっぱいになると

CD T01
DISC FULL

[DISC FULL] と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(48ページ参照)

TWIN RECで同時に録音する (ワンタッチエディット録音)

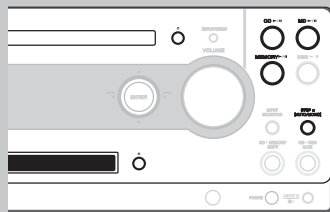
メモリカードとMDへ

準備

メモリカード、CD、MDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。

全曲録音する

1 録音する

TWIN REC

■途中でやめるには

AUTO/MONO

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]が表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■録音中MDまたはメモリカードどちらかがいっぱいになった場合は

ロクオン テイシ ヨウリョウカ゛アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されいっぱいになった方は録音を停止します。もう片方は録音を続けます。
録音し直す場合は不要な曲を削除してください。
(46、48ページ参照)

関連機能 | 好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム再生) P14 | 曲を消す P46、48

1曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する

TWIN REC

再生中の曲の頭から録音が始まります。

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。（14ページ、手順1～5参照）

2 録音する

TWIN REC

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

TWIN RECは、TOOLからも行えます。（75ページ参照）

CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。（89ページ参照）

いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音することはできません。

■こんなときは

短時間で録音したい ……………………… 84ページ参照（録音スピードを設定する）

メモリカード内の情報を見たい ………… 77ページ参照

フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 46ページ参照

MDの曲を削除したい …………………… 48ページ参照

フォルダを整理したい …………………… 78ページ参照

フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ………………………… 58ページ参照

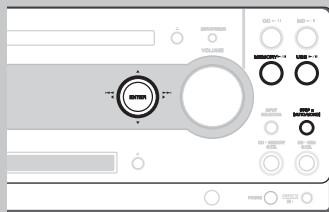
メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する(ワンタッチエディット転送)

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモリカード内からは曲ファイルがなくなります。

※USBオーディオプレーヤーへ転送した曲ファイルはメモリカードへ戻すことはできません。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

※録音モードの設定を変更するには82 ～ 89ページ参照。

1曲転送する

1 音源をメモリカードに切り換える

2 転送したい曲ファイルを選び再生する

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 転送する

MEMORY ▸USB

※転送したい曲を再生中に、この操作を行っても曲の頭から転送できます。

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット転送は、TOOLからも行えます。(74ページ参照)

■転送中USBオーディオプレーヤーがいっぱいになると

テンソウ エラー
USB ヲカクニン

[テンソウ エラー USB ヲカクニン]と表示されます。転送し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

関連機能 | 曲を消す P46 | TOOLからワンタッチエディット録音する P74

フォルダ内すべての曲を転送する

1 音源をメモリカードに切り換える

MEMORY ►/II

2 転送したいフォルダを選択する

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 転送する

MEMORY ►USB

※転送中に何らかのキーを押すと［テンソウ チュウデス KEYLOCKサレテイマス］と表示されます。転送が終わるまで他の操作はできません。

USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると［リフレッシュシテクダサイ］と表示され、転送することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。（78ページ参照）

■こんなときは

USBオーディオプレーヤー、メモリカード内の情報を見たい ………… 77ページ参照

フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 46ページ参照

フォルダを整理したい …………………… 78ページ参照

フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ………………………… 58ページ参照

MDの曲を録音する
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

メモリカードの場合

準備

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照）

メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

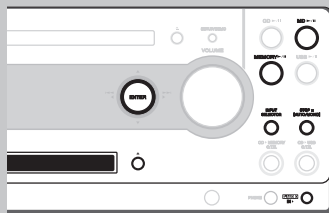
※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82 ～ 89ページ参照。

1 録音する音源を選ぶ

MD ►/II または D.AUDIO ►/II

2 録音の準備をする

❶ MD ►/II または D.AUDIO ►/II 再生を一時停止します。

❷ 録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する

MEMORY REC

録音一時停止（待機）状態になります。

```
MEMORY (REC)
MEMORY CARD ヲ
```

※[MEMORY CARD ヲヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

■停止するには

AUTO/MONO ■

■一時停止するには

MEMORY REC または MEMORY ►/II

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

関連機能 | 曲を聞く P 9 | ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く P11

4 録音を始める

MDの曲を録音する場合

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

※音源がCDでも同じ手順で録音することが可能です。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する場合

❶

再度MEMORY RECキーを押し、録音を開始します。

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

❷

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生させます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

音源がCDまたはMDの場合はプログラムモードで好きな曲を好きな順番で録音できます。(14ページ参照)

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は86ページ参照。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。(85ページ参照)

■録音が終了すると

MD T001
DATA WRITING

メモリカードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウカ゛アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

メモリカードの曲を録音する
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

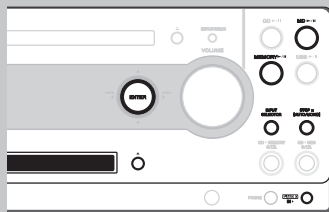
MDの場合

準備

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照）

MDの再生が停止しているか確認してください。

⤮ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。

1 録音する音源を選ぶ

MEMORY ►/II または D.AUDIO ►/II

2 録音の準備をする

❶ MEMORY ►/II または D.AUDIO ►/II 再生を一時停止します。

❷ 録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する

MD REC

録音一時停止（待機）状態になります。

MD T001
II

■停止するには

AUTO/MONO ■

■一時停止するには

MD REC または MD ►/II

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このときトラック番号は1繰り上がります。

関連機能 | 曲を聞く P 7 | ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く P11

4 録音を始める

メモリカードの曲を録音する場合

MEMORY ►/II

MD T001
LP 4

※音源がCDでも同じ手順で録音することが可能です。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する場合

❶

MD REC

再度MD RECキーを押し、録音を開始します。

MD T001
LP 4

❷

D.AUDIO ►/II

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生させます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

MDにLPモード(LP2、LP4)で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生しても音は流れません。

音源がCDの場合はプログラムモードで好きな曲を好きな順番で録音できます。(14ページ参照)

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は86ページ参照。

※分割したトラックは後で編集することができます。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。(85ページ参照)

■録音が終了すると

MEMORY F001
MD WRITING

MDが停止して、[MD WRITING]と表示されます。

※[MD WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[MD WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中MDがいっぱいになると

MEMORY F001
DISC FULL

[DISC FULL]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(48ページ参照)

曲を消す P48 | グループを編集する P62~P64 | ディスプレイ表示切り換え P80 | 録音の設定をする P82~P89

ラジオ(FMまたはAM)を録音する
外部入力(AUX)から録音する

メモリカードの場合

準備

メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82 ～ 89ページ参照。

1 録音する音源を選ぶ

FM/AM/AUX
TUNER

押すごとに
切り換わります。

FM ▶ AM ▶ AUX

INPUT SELECTOR

押すごとに
切り換わります。

FM ▶ AM ▶ AUX ▶ D.AUDIO

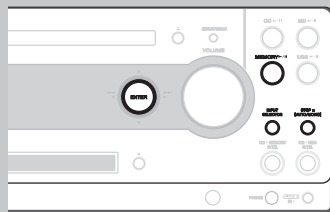
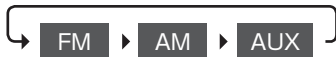
2 録音の準備をする

ラジオ放送（FMまたはAM）を録音する場合

選局します。（22 ～ 23ページ参照）

外部入力機器（AUX）から録音する場合

受信や再生などの準備をします。（10ページ参照）

Hint

メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。（78ページ参照）

■停止するには

AUTO/MONO

STOP ■
[AUTO/MONO]

■一時停止するには

MEMORY REC　または　MEMORY ►/II

MEMORY ►/II

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

関連機能 | ラジオを聞く P22 | 放送局を記憶させる P24~P27 | 曲を消す P46

3 録音待機する

MEMORY REC

録音一時停止（待機）状態になります。

```
MEMORY (REC)
MEMORY CARD ヲ
```

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

4 録音を始める

MEMORY REC

再度RECキーを押し、録音を開始します。

```
MEMORY Tr001
MEMORY CARD ヲ
```

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

5 外部入力の再生を始める

※ラジオの場合、この手順は不要です。

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は86ページ参照。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。(85ページ参照)

■録音が終了すると

```
TUNER P03
DATA WRITING
```

メモリカードが停止して、
[DATA WRITING] と表示されます。

※ [DATA WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [DATA WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

```
ロクオン テイシ
ヨウリョウガ アリマセン
```

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン] と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

ラジオ(FMまたはAM)を録音する
外部入力(AUX)から録音する

MDの場合

準備

MDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。

1 録音する音源を選ぶ

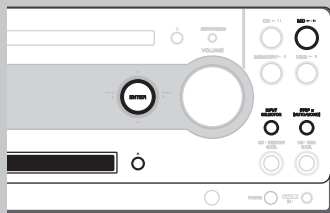
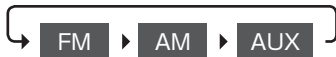
FM/AM/AUX
TUNER

押すごとに
切り換わります。

FM ▶ AM ▶ AUX

INPUT SELECTOR

押すごとに
切り換わります。

FM ▶ AM ▶ AUX ▶ D.AUDIO

2 録音の準備をする

ラジオ放送（FMまたはAM）を録音する場合

選局します。（22～23ページ参照）

外部入力機器（AUX）から録音する場合

受信や再生などの準備をします。（10ページ参照）

■停止するには

AUTO/MONO

STOP ■
[AUTO/MONO]

■一時停止するには

MD REC　または　MD ►/II

MD ►/II

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このときトラック番号は1繰り上がります。

関連機能　ラジオを聞く P22　放送局を記憶させる P24～P27　曲を消す P48

3 録音待機する

MD REC

録音一時停止(待機)状態になります。

MD T001
II

4 録音を始める

MD REC

再度MD RECキーを押し、録音を開始します。

MD T001
● LP 4

5 外部入力の再生を始める

※ラジオの場合、この手順は不要です。

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は86ページ参照。

※分割したトラックは後で編集することができます。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。(85ページ参照)

■録音が終了すると

TUNER P03
MD WRITING

MDが停止して、[MD WRITING] と表示されます。

※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中MDがいっぱいになると

TUNER P03
DISC FULL

[DISC FULL] と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(48ページ参照)

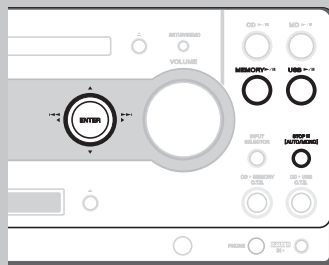
曲を消す

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードの場合

消したい曲を再生して、確認しながら消すこともできます。その場合は消したい曲を再生しながら操作してください。

一度消した曲はもとに戻りません。本操作を行うときはご注意ください。

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II

2 消したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

1曲ずつ消す場合

曲ファイルを選びます。

※再生中はその曲ファイルが選択されます。

フォルダとフォルダ内のすべての曲を消す場合

フォルダを選びます。

※フォルダが消せない場合は曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。（101ページ参照）

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO ■

STOP ■ ［AUTO/MONO］

関連機能 イントロで曲を探す（イントロスキャン） P18 | リフレッシュ機能でフォルダを整理する P78

3 TOOLキーを押し [ERASE] を選び決定する

TOOL

ERASE
TITLE INPUT

4 確認して、実行する

ERASE
OK

※曲ファイルやフォルダを消した後は、F001が表示されます。

メモリカードの書き込み禁止スイッチがLockになっていると、操作を完了しても [Lock サレテイマス] と表示され、曲ファイルを消すことができません。

フォルダ内に曲ファイル以外のファイルがある場合に、フォルダを選択して消す操作を行うと、フォルダと曲ファイル以外のデータを残して曲ファイルだけ消されます。
本機ではMEMORY FORMATをしないと曲ファイル以外のファイルを消すことはできません。(95ページ参照)

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

曲をもっと録り貯めるには(メモリカードの交換) P79
メモリカード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT) P95

曲を消す

MDの場合

消した曲の後ろのトラック番号は自動的に調整されます。一度消した曲はもとに戻りません。本操作を行うときはご注意ください。

準備

音源をMDに切り換えておきます。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT]選択後、[EDIT TRACK]を選んでおきます。

TOOL

EDIT
O.T.E. MODE

ENTER

EDIT TRACK
EDIT GROUP

ENTER

1曲ずつ選んで消す

1 [ERASE]を選び決定する

MOVE
ERASE

2 消したい曲を選び決定する

ERASE
TRACK 001

※再生中に[ERASE]を選んだ場合は、再生していた曲が表示され、他の曲を選ぶことはできません。

3 確認して、実行する

ERASE
TRACK 001 OK

■途中でやめるには

TOOL　または　AUTO/MONO ■

STOP ■
[AUTO/MONO]

関連機能 | 曲を聞く P 9 | グループ再生する P16 | グループを編集する P62~P64

全曲消す

1 [ERASE] を選び決定する

MOVE
ERASE

2 [TRACK ALL]（全曲）を選び決定する

ERASE
TRACK ALL

3 確認して、実行する

ERASE
TRACK ALL OK

MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても[PROTECTED]と表示され曲を消すことができません。
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。（65ページ参照）

■編集を確定するには

MD
MD WRITING

MDを取り出します。
※[MD WRITING]と表示されます。

※[MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※[MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

編集した内容を取り消す P65

曲を移動する（MOVE）

MDのみ

指定した曲を目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。MOVEを繰り返し行うと、全曲お好みの曲順に並べ替えることができます。

準備

音源をMDに切り換えておきます。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT]選択後、[EDIT TRACK]を選んでおきます。

TOOL

EDIT
O.T.E. MODE

ENTER

EDIT TRACK
EDIT GROUP

ENTER

1 [MOVE]を選び決定する

※ディスクに1曲だけしか入っていない場合は移動できません。

※[RETURN]を選ぶと、前の画面に戻ります。

2 移動する曲を選び決定する

例）移動したい曲に
　　10曲目を選択した場合。

※再生中は再生している曲が自動的に選択、決定されます。

■途中でやめるには

TOOL

または

AUTO/MONO

STOP ■
[AUTO/MONO]

関連機能 | 曲を聞く P 9 | グループ再生する P16 | グループを編集する P62~P64

3 曲の移動先を選び決定する

MOVE
006<↓>007

例）移動先に7曲目（6曲目と7曲目の間）を選択した場合。

※1曲目は [TOP]、最後の曲は [END] と表示されます。

4 確認して、実行する

MOVE
010 → 007 OK?

MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても[PROTECTED]と表示され曲を消すことができません。

曲の移動先が別のグループの場合は移動後、そのグループに登録されます。グループについては62ページ参照。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。（65ページ参照）

■編集を確定するには

MDを取り出します。
※ [MD WRITING] と表示されます。

MD
MD WRITING

※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

編集した内容を取り消す P65

曲をつなぐ（COMBINE）

MDのみ

2つの曲をつないで、1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。

準備

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

1 先頭になる曲を再生する

MD ►/II

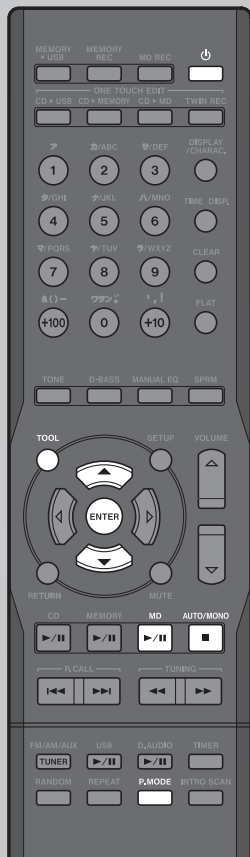
MD ►/II

2 TOOLキーを押しEDIT選択後、[EDIT TRACK]を選び決定する

TOOL

EDIT
O.T.E. MODE

EDIT TRACK
EDIT GROUP

ENTER

※この時再生中の曲は一時停止状態となります。

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

関連機能 | 曲を聞く P9 | グループ再生する P16 | 曲を分ける（DIVIDE） P54

3 [COMBINE] を選び決定する

DIVIDE
COMBINE

※ディスクに1曲だけしか入っていない場合は曲をつなげません。

4 後ろになる曲を選び決定する

COMBINE
005+011

例）5曲目と11曲目をつなぐ場合。

5 確認して、実行する

COMBINE
005+011　OK?

異なる録音モードの曲はつなぐことができません。(例：LP4＋LP2 など)Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲も、つなぐことができません。

異なるグループの曲をつなげた場合は、先頭になる曲と同じグループに登録されます。グループについては62ページ参照。

つないだ曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。(65ページ参照)

■編集を確定するには

MDを取り出します。

※[MD WRITING]と表示されます。

MD
MD WRITING

※[MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

グループを編集する P62~P64 | 編集した内容を取り消す P65

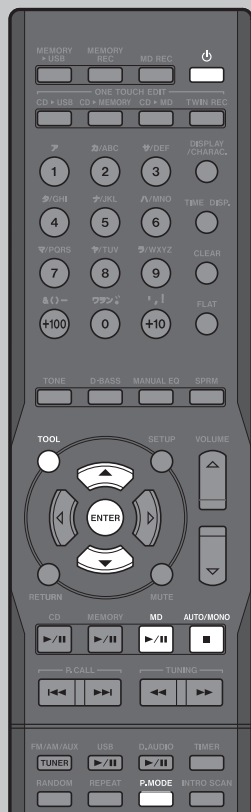
曲を分ける（DIVIDE）

MDのみ

曲の途中にトラック番号を追加して曲を分割します。特に聞きたいところにトラック番号を追加しておくと、スキップできるので便利です。分けたいポイントを繰り返し聞きながら微調整することができます。

準備

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

1 MDの曲を再生し、分けたいポイントで一時停止する

MD ►/II

MD ►/II

2 TOOLキーを押し [EDIT] 選択後、[EDIT TRACK] を選び決定する

TOOL

▼

EDIT
0.T.E. MODE

▼

▼

EDIT TRACK
EDIT GROUP

▼

■途中でやめるには

TOOL　または　AUTO/MONO ■

STOP ■
[AUTO/MONO]

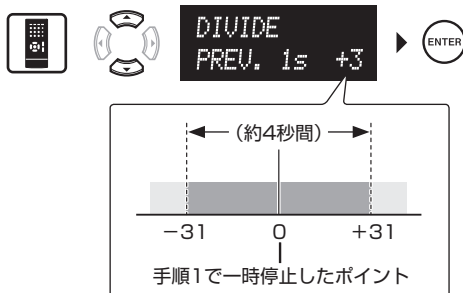
関連機能 | 曲を聞く P9 | グループ再生する P16 | 曲をつなぐ（COMBINE） P52

3 [DIVIDE]を選び決定する

ENTER

ENTER

例）10曲目を分けたい場合。

4 曲を分けるポイントを調整、決定する

調 整 はMULTI CONTROLキ ー の上下で行います。

※分割ポイントは一時停止した所からを−31 〜+31（前後約2秒間）の範囲で微調整できます。

※調整を行うために分割ポイントから約2秒間の再生が繰り返されます。

5 確認して、実行する

DIVIDE
010⊢⊣011 OK?

分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。
最大254までトラックを分割できます。

グループ登録した曲を分けた場合も、分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。グループの範囲が変わることはありません。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。（65ページ参照）

■編集を確定するには

MD
MD WRITING

MDを取り出します。
※［MD WRITING］と表示されます。

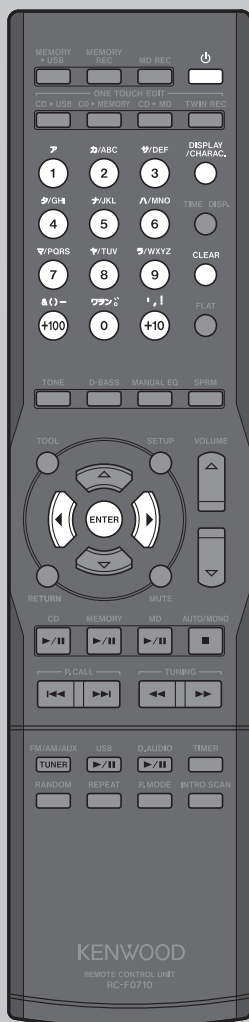
※［MD WRITING］表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※［MD WRITING］が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

文字入力のしかた

曲名など、文字の入力についての説明です。名前の変更（58～61ページ）も併せてご覧ください。

1 文字を入力する

❶

文字のグループを選びます。押すごとに文字の種類が切り換わります。

※詳しくは右記のタイトル編集文字一覧表をご覧ください。

❷

文字入力キーを押して、文字を入力します。

例）グループ[Aa]で カ/ABC ② を押したとき以下のように切り換わります。

→ A ▸ B ▸ C ▸ a ▸ b ▸ c ┐

❸ ❶、❷を繰り返して文字を入力していきます。

例）HAPPYと入力する場合の操作は以下のようになります。

HAPPY

文 字	キー	押す回数
H	タ/GHI ④	2回押します
A	カ/ABC ②	1回押します
P	マ/PQRS ⑦	1回押します
カーソルを移動	▶	1回押します
P	マ/PQRS ⑦	1回押します
Y	ラ/WXYZ ⑨	3回押します

※カタカナ、数字を入力する場合はDISPLAY/CHARAC.キーで文字のグループを選び同じ要領で入力します。

2 タイトルを確定する

関連機能 | 名前の変更 P58~P61

タイトル編集文字一覧表

数字キー ＼ グループ	Aa	12	アァ
① 1ア	（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ
② 2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
③ 3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
④ 4タGHI	G H I g h i	4	タチツテトッ
⑤ 5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
⑥ 6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
⑦ 7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
⑧ 8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨャュョ
⑨ 9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
⓪ 0ワヲン ゛ ゜	（スペース）	0	゛ ゜ ワヲン
+10 +10 ' , !	' , : ? ! ; . " _ ` $ （スペース）		
+100 +100 &( ) −	& ( ) - / + * = < > # % @		

※ ゛（濁点）゜（半濁点）はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
※ディスクタイトル、グループタイトルには/（スラッシュ）を連続して入力しないでください。グループ登録が正しく認識できなくなる場合があります。
※メモリカードやUSBオーディオプレーヤーの場合、: ? . / " * < > は曲ファイル・フォルダ名には入力できません。

入力できる文字数

メモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーのフォルダ、曲ファイルにはそれぞれ最大28文字まで入力できます。

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。

※カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じデータを必要とします。

■文字を消すには

❶

消したい文字にカーソルを移動させます。

❷

CLEAR

文字を消します。

■文字を挿入するには

挿入する箇所にカーソルを移動させ、文字を入力します。

■メモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーの場合

管理番号

管理番号

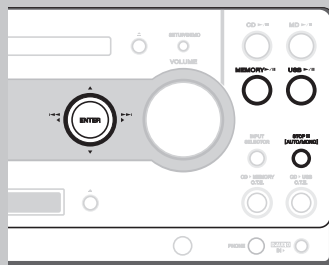
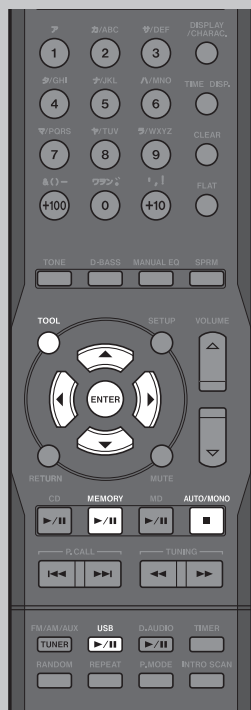
※フォルダ名、曲ファイル名のタイトル前にあるアルファベットや番号（管理番号）を変更するとフォルダ、曲ファイルの順序がずれてしまいます。なるべく管理番号の変更はしないでください。

USBオーディオプレーヤーやメモリカードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

名前の変更

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードの場合

本機で録音した曲ファイルや作成されたフォルダ（KWDフォルダに入っています）以外のデータの名前を変更しないでください。KWDフォルダについては「お使いになる前に編」24ページ参照。

曲ファイルやフォルダの名前を変更する

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II

USB ►/II または MEMORY ►/II

2 名前を変更したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

※再生中の場合は、再生されている曲ファイルの名前を変更します。

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

関連機能 | イントロで曲を探す（イントロスキャン） P18 | 文字入力のしかた P56

3 TOOLキーを押し [TITLE INPUT] を選び決定する

4 文字を入力する

56ページ参照。

5 タイトルを確定する

※他の曲ファイルやフォルダの名前を変更する場合は、続けて手順2 ～ 5を繰り返し行ってください。

USBオーディオプレーヤーやメモリカードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

名前の変更

MDの場合

準備

グループ名を変える場合は、グループモードに切り換えておきます。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] 選択後、[TITLE INPUT] を選んでおきます。

TOOL

EDIT
O.T.E. MODE

EDIT GROUP
TITLE INPUT

曲やディスクの名前を変える

1 名前を変更したい曲を選び決定する

TITLE INPUT
T001:HAPPY

※ディスクの名前を変更する場合は [DISC] を選びます。

2 文字を入力する

56ページ参照。

3 タイトルを確定する

TITLE INPUT
T001:SONG

※他の曲の名前を変更する場合は、続けて手順1 ～ 3を繰り返し行ってください。

Hint

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO

STOP ■
[AUTO/MONO]

関連機能 | 曲を聞く P 9 | グループ再生する P16 | グループを編集する P62~P64

グループ名を変更する

1 名前を変更したい グループを選び決定する

TITLE INPUT
GR01:......

※選んだグループ内のトラック名を変更したい場合は[Txxx](トラック番号)を選びます。

2 文字を入力する

56ページ参照。

3 タイトルを確定する

TITLE INPUT
GR01:J-POP

※他のグループ名を変更する場合は、続けて手順1 ~ 3を繰り返し行なってください。

編集する

名前の変更

■編集を取り消すには

MD WRITING前なら それまで行った編集を取り消すことができます。(65ページ参照)

■編集を確定するには

MD
MD WRITING

MDを取り出します。

※[MD WRITING]と表示されます。

※[MD WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[MD WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

文字入力のしかた P56 | 編集した内容を取り消す P65

グループを編集する

MDのみ

複数のCDを1枚のMDに録音できるステレオ長時間モード（LP2またはLP4）は、収録できる曲の数が多くなる分、曲を管理するのが大変になります。そこで曲をグループ単位で分けて編集することで、各グループごとにタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりと曲数の多いMDでも曲を管理しやすくなります。

先頭曲と最終曲を選んで、連続している曲をグループ登録することができます。

準備

MDを停止させてください。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT]選択後、[EDIT GROUP]を選んでおきます。

TOOL

▸EDIT
O.T.E. MODE

EDIT TRACK
▸EDIT GROUP

グループ登録する

例）2曲目から12曲目までをグループ登録するとき

1 [GROUP START]を選び決定する

▸GROUP START
GROUP CANCEL

2 グループの先頭曲を選び決定する

GROUP START
002 - 002

例）2曲目をグループの先頭曲に選んだ場合。

※他のグループに登録されている曲を選ぶことはできません。

3 グループの最終曲を選び決定する

GROUP START
002 - 012

例）12曲目をグループの最終曲に選んだ場合。

※他のグループに登録されている曲を選ぶことはできません。

※グループは1曲だけでも登録できます。

4 確認して、実行する

GROUP START
002 - 012 OK?

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO

STOP ■ [AUTO/MONO]

■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。（65ページ参照）

関連機能 | 曲を聞く P 9 | グループ再生する P16 | 名前の変更 P60

グループ範囲を変更する

先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。

[GROUP EDIT] を選び決定する

GROUP CANCEL
▸GROUP EDIT

2 範囲を変更するグループを選び決定する

GROUP EDIT
GR01:002-012

※各グループを選択すると
グループの範囲とタイト
ルがスクロールします。

3 変更する

62ページ「グループ登録する」の
手順2 ～ 4を行ってください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。
MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。(57ページ参照)

■編集を確定するには

MDを取り出します。

MD
MD WRITING

※[MD WRITING]
と表示されます。

※[MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※[MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

グループを編集する（つづき）

登録したグループを解除する

※TOOLキーを押し［EDIT］選択後、［EDIT GROUP］を選択しておいてください。
（62ページ参照）

［GROUP CANCEL］を選び決定する

GROUP START
GROUP CANCEL

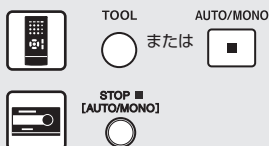
2 解除するグループまたはすべてのグループを選び決定する

GROUP CANCEL
GR01:002-012

または

GROUP CANCEL
GROUP ALL

※各グループを選択した場合はグループタイトルとグループ範囲がスクロールします。

3 確認して、実行する

GROUP CANCEL
GROUP01　OK?

■途中でやめるには

または
■編集を取り消すには

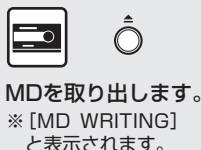
MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。(65ページ参照)

■編集を確定するには

MDを取り出します。
※［MD WRITING］と表示されます。

MD
MD WRITING

※［MD WRITING］表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※［MD WRITING］が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

関連機能 | グループ再生する P16 | 名前の変更 P60 | 編集した内容を取り消す P65

編集した内容を取り消す

MDのみ

MD WRITINGで編集を確定する前なら、それまで行った編集を取り消すことができます。

取り消したい場合は

■ MDを取り出す前

■ 電源をOFFにする前

■ 録音する前

に行ってください。

準備

MDを停止させてください。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] を選んでおく

TOOL

EDIT
O.T.E. MODE

[EDIT CANCEL] を選び決定する

TITLE INPUT
EDIT CANCEL

※すでに編集内容を確定してしまっている場合は [EDIT CANCEL X] と表示され操作できません。

確認して、実行する

MD EDIT
CANCEL OK?

Hint

一度取り消した編集はもとに戻りません。必要な場合は、もう一度初めから編集を行ってください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■ 途中でやめるには

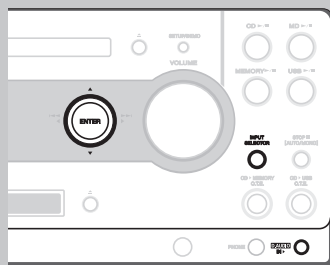
TOOL または AUTO/MONO

STOP ■ [AUTO/MONO]

編集する

グループを編集する（つづき）
編集した内容を取り消す

外部機器の入力レベルを調整する

同じボリュームでも外部機器の音がその他の音源より大きく、または小さく感じた場合は、入力レベルを調整して合わせることができます。

1 調整したい音源（AUXまたはD.AUDIO）に切り換える

FM/AM/AUX TUNER または D.AUDIO ►/II

FM ► AM ► AUX

INPUT SELECTOR

FM ► AM ► AUX ► D.AUDIO

2 TOOLキーを押し [INPUT LEVEL] を選び決定する

TOOL ► ►INPUT LEVEL EXIT ► ENTER

※ [EXIT] を選ぶと、もとの表示に戻ります。

3 入力レベルを調整する

INPUT LEVEL
D.AUDIO +3

－3 ～＋3の範囲で調整します。

※入力レベルの調整は手順1で選んだ音源に対してのみ有効です。

4 確定する

Hint

入力レベルを調整すると、AUX端子、D.AUDIO IN端子に接続された外部機器から録音するときの音量も変わります。
カーソルの移動や決定などの操作は本体でも行うことができます。

関連機能 外部機器の曲を聞く（AUX接続） P10 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く P11 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する P38~P41 外部入力（AUX）から録音する P42~P45

おやすみタイマーを設定する（SLEEP）

設定した時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。

準備

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP] を選んでおきます。

SYSTEM SETUP
REC SETUP

1 [SLEEP] を選ぶ

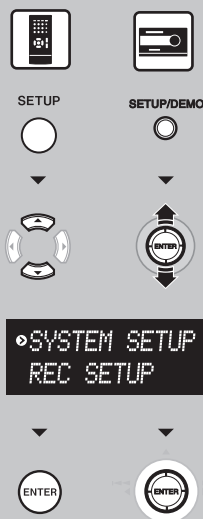
※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 時間を設定する

※押すごとに10分ずつ増減します。最大で90分まで設定できます。

※ [OFF] を選ぶと解除できます。

3 確定する

※ が点灯します。

おやすみタイマー設定中に、「メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」（36ページ）、「曲を消す」（46ページ）、「メモリカード内のすべてのデータを消去する」（95ページ）を行うとおやすみタイマーがOFFになります。

■おやすみタイマーを解除、または再設定するには

※電源をOFFにするか、または [OFF] を選びます。

タイマーを使う P68~P73

タイマーを使う

2種類のタイマー（PROGRAM 1、PROGRAM 2）を同時に設定できます。

PROGRAM 1とPROGRAM 2の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。

ラジオ放送をタイマーで録音する場合、録音したい番組の開始時間ぴったりにタイマーを設定すると最初の部分が頭切れになります。開始時間より1分程度早く設定してください。

準備

時計を合わせておいてください。（97ページ参照）

外部機器の音を再生、または録音する場合は、外部機器を接続し外部機器のタイマーも設定しておいてください。（外部機器の取扱説明書をご覧ください）

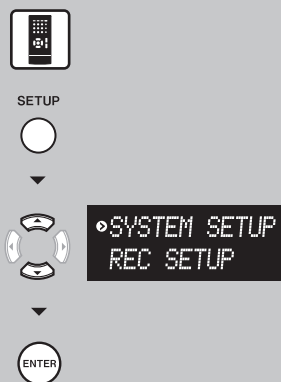
操作中にRETURNキーを押すと、前の表示に戻ることができます。

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。

SETUP

SYSTEM SETUP
REC SETUP

1 [TIMER SETTING]を選ぶ

TIME ADJUST
TIMER SETTING

2 [PROGRAM 1 SET]または[PROGRAM 2 SET]を選ぶ

PROGRAM 1 SET
PROGRAM 2 SET

3 各項目を選んで設定する

設定できる項目は以下の通りです。
各項目については69～72ページ参照。

各項目の設定に順番はありません。
必要な項目を、お好きな順番で設定できます。

各項目を選んで

決定する

各項目の詳細を設定する

表示	内容
ON/OFF	タイマーが作動するまたはしないを設定する
PLAY/REC	再生または録音を選ぶ
ﾖｳﾋﾞ ｾｯﾃｲ	曜日を選ぶ
ON TIME	開始時間を設定する
OFF TIME	終了時間を設定する
ON VOLUME	音量を設定する
AI PLAY	AI PLAYを設定する（TIMER PLAYのみ有効）
PLAY SOURCE	再生する音源を選ぶ
RECORDER	録音先を選ぶ（TIMER RECのみ有効）
REC MODE	録音モードを選ぶ（TIMER RECのみ有効）

※すべての項目を設定しなくてもタイマーの設定は完了できますが、確実に動作させるために各項目をひと通り確認することをお勧めします。

[ON/OFF]　タイマーが作動するまたはしないを設定する

ON/OFF
ON

※タイマーを作動させない場合は
[OFF] を選びます。

[PLAY/REC]　再生または録音を選ぶ

PLAY/REC
TIMER REC　録音する場合 ▶

TIMER PLAY　再生する場合 ▶

[ヨウビ　セッテイ]　曜日を選ぶ

❶ 曜日を選びます。

ﾖｳﾋﾞ ｾｯﾃｲ
EVERYDAY　（毎日）　解除するまでタイマーが働く ▶

SUNDAY　（日曜日）
MONDAY　（月曜日）
TUESDAY　（火曜日）
WEDNESDAY（水曜日）
THURSDAY　（木曜日）
FRIDAY　（金曜日）
SATURDAY　（土曜日）

タイマーが1回だけ働くか、毎週働くか選べる ▶

右に1回だけ押す

手順❷へ

MON – FRI（月~金曜日）
TUE – SAT（火~土曜日）
SAT – SUN（土~日曜日）

解除するまでタイマーが働く ▶

❷ 1回だけ働くか、毎週働くかを選びます。

ﾖｳﾋﾞ ｾｯﾃｲ
ONETIME　タイマーが1回だけ働く ▶

EVERY WEEK　タイマーが毎週働く ▶

タイマーを使う（つづき）

[ON TIME]　開始時間を設定する

[時] を
合わせます

ON TIME
AM 12:00

右に1回
だけ押す

[分] を
合わせます

ON TIME
AM 12:30

[OFF TIME]　終了時間を設定する

[時] を
合わせます

OFF TIME
AM 2:30

右に1回
だけ押す

[分] を
合わせます

OFF TIME
AM 2:50

[ON VOLUME]　音量を設定する

ON VOLUME
VOLUME 11

※音量は0～40（最大）の間で設定できます。

※現在聞いている音量は変わりません。

※[TIMER PLAY]、[TIMER REC] それぞれ別の音量を設定できます。

関連機能｜時計を合わせる（TIME ADJUST）P97

[AI PLAY]　AI PLAYを設定する（TIMER PLAYのみ有効）

AI PLAY
ON

※AI PLAYを [ON] にすると設定した時間に再生が始まり、音量が [ON VOLUME] で設定したところまで徐々に大きくなります。

※ [OFF] に設定すると [ON VOLUME] で設定した音量で再生が始まります。

[PLAY SOURCE]　再生する音源を選ぶ

❶ 音源を選びます。

PLAY SOURCE
TUNER

放送局（プリセット番号）を選ぶ

右に1回だけ押す

手順❷へ

CD
MD
MEMORY
AUX

※ [PLAY/REC]（69ページ参照）で [TIMER REC] を選んでいる場合、[MEMORY]、[CD]、[MD] を選ぶことはできません。

❷ 放送局（プリセット番号　P01 ～ P40）を選びます。

※プリセット番号については24 ～ 26ページ参照。

タイマーを使う（つづき）

[RECORDER]　録音先を選ぶ（TIMER RECのみ有効）

RECORDER
MEMORY

録音先にメモリカードを選ぶ ▶
MD

録音先にMDを選ぶ ▶
[REC MODE]　録音モードを選ぶ（[RECORDER] で [MEMORY] を選んだ場合）

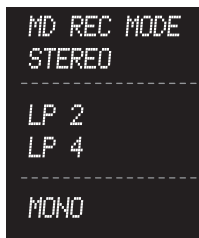
※録音モードの設定については82 ～ 89ページ参照。

SQ

[REC MODE]　録音モードを選ぶ（[RECORDER] で [MD] を選んだ場合）

※録音モードの設定については82 ～ 89ページ参照。

❶ 録音モードを選びます。

LP 2
LP 4

LP:STAMPの設定を選ぶ ▶
右 に1回だけ押す
MONO

❷ LP：STAMPを設定します。

LP:STAMP
ON

※LP：STAMPについては83ページ参照。

関連機能 | 録音の設定をする　P82~P89

電源をOFFにする

※タイマーが設定されてスタンバイ状態になると［タイマーセット　サレマシタ］と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点灯します。

※電源プラグを差し直したり停電があった場合は、［トケイセッテイ　カクニン］と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点滅します。もう一度時計を合わせてください。

■タイマーを解除（OFF）/ 再設定（ON）するには

押すごとに
切り換わります。

※電源をONにしてから行ってください。

PROGRAM 1がONの状態 → PROGRAM 2がONの状態 → PROGRAM 1,2がONの状態 → タイマーがOFFの状態

この操作は本体でも行うことができます。

タイマーの内容を確認、変更したい場合や設定を間違えた場合は、設定を初めからやり直してください。

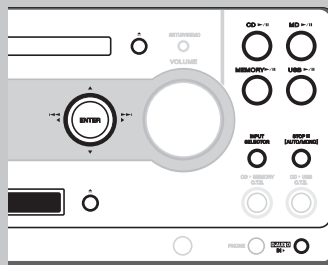
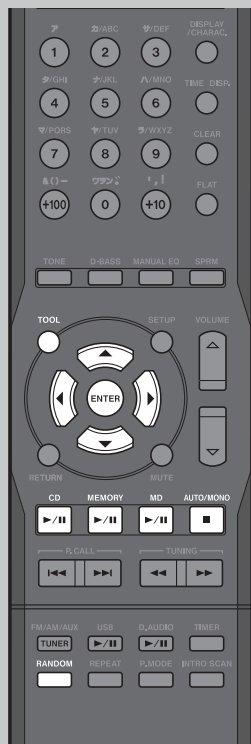
タイマーを設定した後に再生などを楽しんでも、タイマーの設定には影響ありません。

タイマー作動中に､「メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」(36ページ)、「曲を消す」（46ページ）､「メモリカード内のすべてのデータを消去する」（95ページ）を行うと終了時間になっても電源がOFFになりません。

TOOLからワンタッチエディット録音する

準備

表示が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには82 ～ 89ページ参照。

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの転送

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモリカード内からは曲ファイルがなくなります。

1 音源をメモリカードに切り換える

MEMORY

2 転送したい曲ファイルまたは、フォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 TOOLキーを押し[MEM→USB MOVE]を選び決定する

TOOL

4 転送を始める

MEM→USB MOVE
OK

※行わない場合は[CANCEL]を選んでください。

転送に関するその他の詳細や操作については36ページ参照。
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

関連機能 メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する P36

CDの曲をUSBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDに録音する

1 音源をCDに切り換える

CD ►/II

2 CDの状態を確認する

再生中の場合	再生している曲を録音します。
停止中の場合	CD内の全曲を録音します。
プログラムモード停止中の場合	プログラムモードで指定した曲を録音します。

3 TOOLキーを押し [O.T.E. MODE] を選び決定する

▸O.T.E. MODE
EXIT

4 録音先を選ぶ

O.T.E. START
CD → USB

例）USBオーディオプレーヤーに録音する場合。

O.T.E. START
CD → MEMORY

例）メモリカードに録音する場合。

O.T.E. START
CD → MD

例）MDに録音する場合。

O.T.E. START
TWIN REC

例）メモリカードとMDに録音する場合。

※ [RETURN] を選ぶと前の表示に戻ります。

5 録音を開始する

録音に関するその他の詳細や操作については28 ～ 35ページ参照。
選択や決定などの操作は本体でも行なうことができます。

CDの曲を録音する（ワンタッチエディット録音） P28~P33 | TWIN RECで同時に録音する P34 | 録音の設定をする P82~P89

TOOLからワンタッチエディット録音する

MDの曲をメモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーに録音する

1 音源をMDに切り換える

MD ►/II

2 MDの状態を確認する

再生中の場合	再生している曲を録音します。
停止中の場合	MD内の全曲を録音します。
グループモード停止中の場合	グループ内の全曲を録音します。
プログラムモード停止中の場合	プログラムモードで指定した曲を録音します。

3 TOOLキーを押し [O.T.E. MODE] を選び決定する

TOOL ▶

EDIT
O.T.E. MODE

▶

4 録音先を選ぶ

O.T.E. START
MD → USB

例）USBオーディオプレーヤーに録音する場合。

O.T.E. START
MD → MEMORY

例）メモリカードに録音する場合。

※ [RETURN] を選ぶと前の表示に戻ります。

5 録音を開始する

MDに曲名やアルバム名などの文字情報が入っていれば、録音するときに文字情報を一緒にコピーすることができます。（89ページ参照）

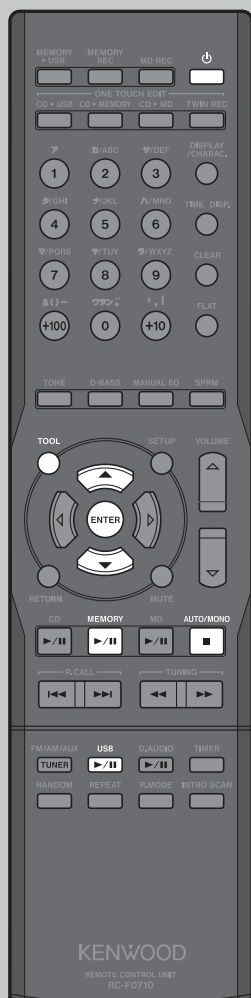
関連機能 | MDの曲を録音する P38 | 録音の設定をする P82~P89

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード内のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのKWDフォルダ内のフォルダと曲ファイルの数を確認することができます。録音やリフレッシュを行う前に併せてお使いください。

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II

2 TOOLキーを押し [USB ヨウリョウ] または [MEMORY ヨウリョウ] を選び決定する

TOOL ▶ ▶ ENTER

USB ヨウリョウ
REFRESH

または

MEMORY ヨウリョウ
REFRESH

3 現在のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

FOLDER 12/200
FILE 39/1000

※USBオーディオプレーヤー選択時は USB 、メモリカード選択時は MEMORY が点滅します。

※本機で扱えるのはフォルダ数200、曲ファイル数1000までです。「お使いになる前に編」24ページ参照。

Hint ルート直下に曲ファイルがある場合は、その数も曲ファイル数に含まれます。

■もとの画面表示に戻すには

TOOL または AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

リフレッシュ機能でフォルダを整理する P78 | 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P79

リフレッシュ機能でフォルダを整理する

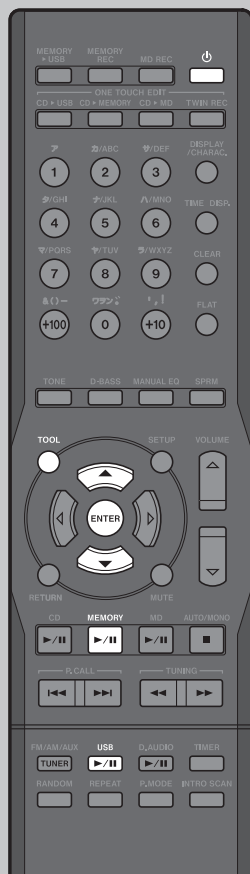
USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード

リフレッシュを行うとUSBオーディオプレーヤーやメモリカードの飛び飛びになっているフォルダ名（AL_XXX）を整理し連番で番号を付け直します。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモリカードが停止しているか確認してください。

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II

2 TOOLキーを押し[REFRESH]を選び決定する

TOOL

ENTER

MEMORY ヨウリョウ
▸REFRESH

3 [OK]を選び決定する

REFRESH
OK

※行わない場合は[CANCEL]を選んでください。

■リフレッシュが終了すると

フォルダの番号が自動で新たに付け直されます。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

関連機能 メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する P36 ｜ 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P79

曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換）

準備

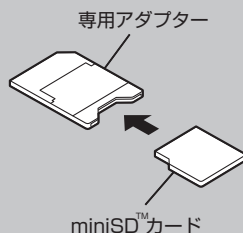
メモリカードの交換はスタンバイ状態時に行ってください。

※32MB ～ 2GBまでのSDメモリカードが使用できます。SDHC（4GB以上）は使えません。使用可能なメモリカードの情報は当社ホームページをご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

※記録前に、本機で初期化することをお勧めします。（95ページ参照）

SDメモリカードまたはminiSD™カードが使えます。

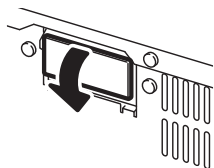
※miniSD™カードの場合は専用アダプターが必要です。

パソコンと併せてもっと便利にお使いいただけます。

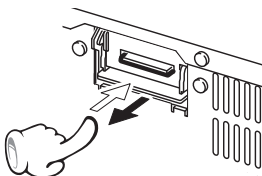
■パソコンで録り貯めた曲ファイルを移動する。

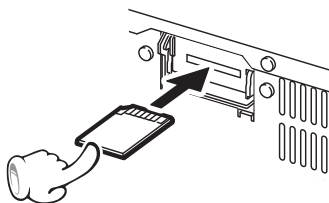
■パソコンを使ってメモリカード内の曲を整理する。

詳しくは

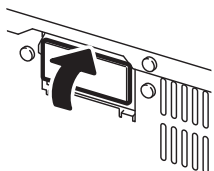
http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

1 メモリカードスロットのふたを開ける

※録音中は絶対にメモリカード挿入部のふたを開けないでください。録音が停止し正常に録音が行えません。

2 メモリカードを取り出す

メモリカードを一度軽く押し込んでください。

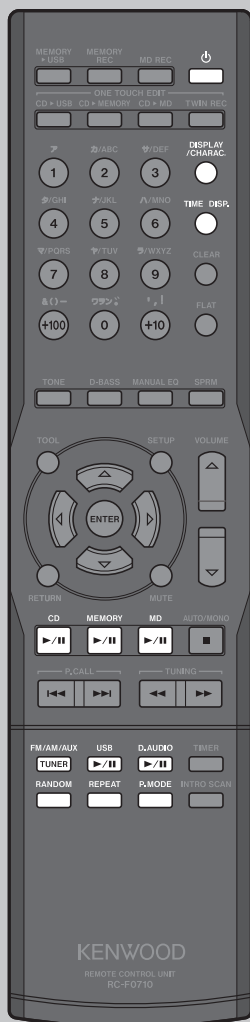
3 交換用のメモリカードを入れる

ラベル面を下にして、カットされた部分が左になるように入れます。

※奥までしっかり入れてください。

4 メモリカードスロットのふたを閉める

※ふたが開いたままだと再生や録音が行えません。

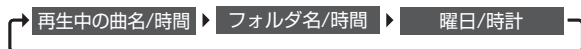
リフレッシュ機能でフォルダを整理する P78 | メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT） P95

ディスプレイ表示切り換え

※表示できる時間は9999分59秒までです。それを越えると「----：--」と表示されます。

音源	ボタン	録音中のディスプレイ表示
USB	DISPLAY /CHARAC.	録音もとの音源表示 ▶ USBオーディオプレーヤー / メモリカード 録音表示
MEMORY	TIME DISP.	USBオーディオプレーヤー / メモリカード録音残量時間 REC REMAIN 点灯 ※メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの転送中は、時間表示されません。
CD	DISPLAY /CHARAC.	
	TIME DISP.	
MD	DISPLAY /CHARAC.	録音もとの音源表示 ▶ MD REC表示
	TIME DISP.	MD録音残量時間 ▶ 再生中の曲の経過時間 REC REMAIN 点灯
TUNER	DISPLAY /CHARAC.	

関連機能 | 曲を聞く P6~P9 | 外部機器の曲を聞く（AUX接続） P10 |

再生中のディスプレイ表示

再生中の曲名/時間 ▶ フォルダ名/時間 ▶ 曜日/時計

※音源にD.AUDIOが選ばれている場合は、曜日と時計が表示されます。

フォルダ/全曲再生モード：再生中の曲の経過時間 ▶ 再生中の曲の残り時間 ▶ 録音残量時間（REC REMAIN 点灯）

1曲リピート時：再生中の曲の経過時間 ▶ 再生中の曲の残り時間 ▶ 録音残量時間（REC REMAIN 点灯）

CD-TEXTあり：再生中の曲名/時間 ▶ 曜日/時計

※停止中の場合はディスクの名前が代わりに表示されます。

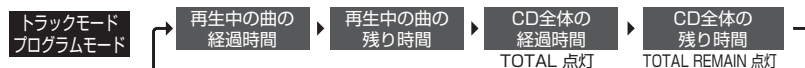
CD-TEXTなし：時間 ▶ 曜日/時計

トラックモード プログラムモード：再生中の曲の経過時間 ▶ 再生中の曲の残り時間 ▶ CD全体の経過時間（TOTAL 点灯） ▶ CD全体の残り時間（TOTAL REMAIN 点灯）

1曲リピート ランダムモード時：再生中の曲の経過時間 ▶ 再生中の曲の残り時間

トラックモード プログラムモード：再生中の曲名/時間 ▶ 曜日/時計

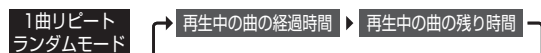
※停止中の場合はディスクの名前が代わりに表示されます。

グループモード時：再生中の曲名/時間 ▶ 曜日/時計

※停止中の場合はグループの名前が代わりに表示されます。

トラック/グループ プログラムモード時：再生中の曲の経過時間 ▶ 再生中の曲の残り時間 ▶ MD全体の経過時間（TOTAL 点灯） ▶ MD全体の残り時間（TOTAL,REMAIN 点灯） ▶ 録音残量時間（REC REMAIN 点灯）

1曲リピート ランダムモード：再生中の曲の経過時間 ▶ 再生中の曲の残り時間

放送局名表示あり（FMのみ）：放送局名/周波数 ▶ 曜日/時計

放送局名表示なし：周波数 ▶ 曜日/時計

録音の設定をする

本機には多彩な録音機能がありますが、それぞれの録音について詳細な機能を設定することができます。

より使いやすく、お好みに合わせて、各項目を設定することをお勧めします。

準備

SETUPキーを押し[REC SETUP]を選んでおきます。

SYSTEM SETUP
▸REC SETUP

録音モードを設定する（REC MODE）

USBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDに録音する場合は、音質や録音できる長さを設定することができます。

1 [REC MODE] を選び決定する

▸REC MODE
O.T.E. SPEED

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 設定したい録音先を選び決定する

MEMORY/USBを選んだ場合　※**HQ**、**SQ**が点滅します。

MDを選んだ場合　※**LP 2 4**、**MONO**が点滅します。

この操作は本体でも行うことができます。

関連機能 | CDの曲を録音する（ワンタッチエディット録音） P28~P33 | TWIN RECで同時に録音する P34

3 録音モードを選ぶ

MEMORY/USBを選んでいる場合	
MEMORY/USB SQ	標準的な音質で録音します。HQにくらべて、録音可能時間が長くなります。 ビットレート：128kbps
HQ	高音質で録音します。SQにくらべて、録音可能時間が短くなります。 ビットレート：192kbps

MDを選んでいる場合	
MD REC MODE STEREO	ステレオで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間になります。音質を重視する録音をする場合は、「STEREO」をお勧めします。
LP2	音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の約2倍になります。（ステレオ2倍長時間録音）音質は「STEREO」より若干劣ります。
LP4	音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の約4倍になります。（ステレオ4倍長時間録音）音質は「LP2」より若干劣ります。
MONO	モノラルで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間の約2倍になります。

確定する

LP：STAMPを設定する

LP:STMP
ON

※手順3でLP2またはLP4を選んだ場合のみ設定します。

※「LP:」を付けない場合は [OFF] を選びます。

■LP：STAMP機能とは

MDに録音するとき、LP2またはLP4で録音された曲のタイトルの頭に「LP：」を自動で付ける機能です。本機ではこの機能のON（「LP：」を付ける）とOFF（「LP：」を付けない）を設定することができます。「LP：」はMDLPに対応していない機器でLP2またはLP4で録音した曲を再生しているときだけタイトルとして表示されます。（本機はMDLP対応なので表示されません）「LP:」もタイトルの文字数に含まれるため、タイトルの編集ができない場合もあります。

録音の設定をする（つづき）

録音スピードを設定する（O.T.E.　SPEED）

USBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDに録音する場合の録音スピードを設定することができます。

※SETUPキーを押し［REC SETUP］を選択しておいてください。（82ページ参照）

1　［O.T.E.　SPEED］を選び決定する

REC MODE
▸O.T.E. SPEED

※**HIGH**が点滅します。

※［RETURN］を選ぶと、前の表示に戻ります。

2　録音スピードを選び確定する

O.T.E. SPEED
HIGH

または

O.T.E. SPEED
NORMAL

※［HIGH］を選ぶと、4倍速録音になります。

この操作は本体でも行うことができます。

HIGH　SPEEDで録音している場合、音は出ません。

録音入力をANALOGに設定してある場合に［HIGH］を選ぶと、録音入力がDIGITALに切り換わります。（下記参照）

転送速度が低いメモリカードを使った場合、HIGH SPEED録音ができないことがあります。その場合は［NORMAL］を選んでください。

録音入力を設定する（REC　INPUT）

CDをUSBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDに録音する場合、デジタル入力にするかアナログ入力にするかを設定することができます。

※SETUPキーを押し［REC SETUP］を選択しておいてください。（82ページ参照）

1　［REC　INPUT］を選び決定する

O.T.E. SPEED
▸REC INPUT

※**DIGITAL**、**ANALOG**が点滅します。

※［RETURN］を選ぶと、前の表示に戻ります。

2　録音入力を選び確定する

REC INPUT
DIGITAL

または

REC INPUT
ANALOG

※録音入力をDIGITALに設定しても、録音もとの音源がアナログの場合はアナログ録音になります。

この操作は本体でも行うことができます。

録音入力のANALOG設定は、電源をOFFにすると解除されます。（通常、録音入力はDIGITALです）

録音スピードをHIGHに設定してある場合に［ANALOG］を選ぶと、録音スピードがNORMALに切り換わります。（上記参照）

録音レベルを調整する（REC LEVEL）

メモリカードやD.AUDIO 出力端子に接続した機器、MDに録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は、録音レベルを調整してください。

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（82ページ参照）

[REC LEVEL] を選び決定する

REC INPUT
▸REC LEVEL

▶

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

設定したい録音先を選び決定する

MD
MEMORY/USB
D.AUDIO

▶

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 録音レベルを調整する

MEMORY/USB
LEVEL + 2

例）[MEMORY/USB] を選んだ場合。

D.AUDIO
LEVEL HIGH

例）［D.AUDIO］を選んだ場合。

MEMORY/USBまたはMDの場合

－２～＋2の範囲で調整できます。

D.AUDIOの場合

HIGHまたはLOWを選びます。

※D.AUDIO 出力端子にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、それぞれの機器に最適な録音レベルを選びます。

接続機器	設定	
M1GB5、M512B5を接続した場合	本機：HIGH	
	M1GB5 M512B5	調整なし
M2GC7、M1GC7を接続した場合	本機：HIGH	
	M2GC7 M1GC7	Mid

確定する

この操作は本体でも行うことができます。

録音の設定をする（つづき）

トラックマークの付け方を設定する（TRACK MARK）

メモリカードやMDにラジオやD.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、トラックマークを自動または手動で付けるかを設定します。

本機ではトラックマークからトラックマークの間を曲と見なします。

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（82ページ参照）

[TRACK MARK] を選び決定する

REC LEVEL
▸TRACK MARK

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 自動または手動にするかを選び確定する

TRACK MARK
AUTO

または

TRACK MARK
MANUAL

AUTO（トラックマークを自動で付ける）を選んだ場合

AUTO（自動で付ける）を選んだ場合は、トラックマークを何分ごとに付けるか（AUTO MARK）を設定できます。（87ページ参照）

※CD、メモリカード、MDから録音している場合は、設定に関わらず、曲ごとに自動でトラックマークが付きます。

※ラジオを録音している場合は、AUTO MARKで設定した間隔でトラックマークが付きます。

※D.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが付きます。

MANUAL（トラックマークを手動で付ける）を選んだ場合

録音中にトラックマークを付けたいところでENTERキーを押してください。

この操作は本体でも行うことができます。

設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

トラックマークによってできた曲は録音終了後に編集できます。（MDのみ　48ページ～参照）

トラックマークの間隔を設定する（AUTO　MARK）

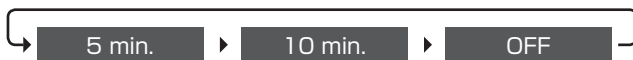
ラジオを録音しているときトラックマークを自動で付ける場合は、何分ごとに付けるか設定できます。
トラックマークを自動で付ける設定にしておいてください。（86ページ参照）
※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（82ページ参照）

1 [AUTO　MARK] を選び決定する

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 間隔を設定する

AUTO MARK
5 min.

5 min. ▶ 10 min. ▶ OFF

5 min.	10 min.	OFF
5分間隔でトラックマークを付けます。	10分間隔でトラックマークを付けます。	無音状態が2秒以上続くとその箇所にトラックマークを付けます。

3 確定する

この操作は本体でも行うことができます。
設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

録音の設定をする（つづき）

グループ登録するか設定する（GROUP MAKE）

MDに録音した曲をひとつのグループとして自動で登録するか設定できます。
※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（82ページ参照）

1 [GROUP MAKE] を選び決定する

AUTO MARK
GROUP MAKE

※[RETURN]を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選ぶ

GROUP MAKE
ON

ON	OFF
録音した曲を グループ登録します。	録音した曲を グループ登録しません。

3 確定する

この操作は本体でも行うことができます。
登録されたグループは、録音終了後に編集できます。（62ページ～参照）

録音時に曲名などをコピーするか設定する（TEXT COPY）

USBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDにCD-TEXT対応のディスクを録音する場合に、曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーするかを設定します。（ワンタッチエディット録音のみ　28 ～ 35ページ参照）

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（82ページ参照）

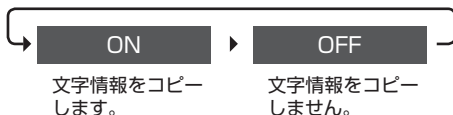
[TEXT COPY] を選び決定する

GROUP MAKE
▸TEXT COPY

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選ぶ

TEXT COPY
ON

ON	OFF
文字情報をコピーします。	文字情報をコピーしません。

3 確定する

■文字情報をコピーしない場合は

曲には「TRXXX」、フォルダには「AL_XXX」（USBオーディオプレーヤー、メモリカード）
LP:STAMPがONの場合は「LP:」（MDのみ）が付きます。

この操作は本体でも行うことができます。

USBオーディオプレーヤー、メモリカードにMDを録音する場合に、曲名やアルバム名などの文字情報が入っていれば一緒にコピーできます。（ワンタッチエディット録音のみ 76ページ参照）

メモリカードにラジオを録音する場合に、放送局がオートプリセットされていて放送局名が記憶されていると、放送局名がフォルダ名としてコピーされます。放送局名が記憶されていない場合は、周波数がフォルダ名としてコピーされます。（24ページ参照）

文字情報は録音終了後に編集できます。（58、60ページ参照）

音質の設定をする

音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

準備

SETUPキーを押し
[SOUND SETUP] を選んでおきます。

REC SETUP
SOUND SETUP

低音を強調する（D-BASS）

1 [D-BASS] を選び決定する

※ **D-BASS** が点灯します。
※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する

1 ～ 10の範囲で1ずつ調整できます。

3 確定する

※ 調整前にD-BASS機能がOFFだった場合は、設定後ONになります。

この操作は本体でも行うことができます。

関連機能 お好みの音質で聞く P20

低音と高音を調整する（TONE）

[TONE] を選び決定する

※**TONE** が点灯します。
※[RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する

低音または高音を選んで

TONE ON
BASS +4

TONE ON
TREBLE +4

調整する

+8 ～－8の範囲で2ずつ調整できます。

+8 ～－8の範囲で2ずつ調整できます。

3 確定する

※調整前にTONE機能がOFFだった場合は、設定後ONになります。

この操作は本体でも行うことができます。

音質の設定をする（つづき）

お好みの音質を登録する（MANUAL　EQ）

本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、お好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類（USER　1 ～ 3）まで登録できます。

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。（90ページ参照）

[MANUAL EQ] を選び、[USER 1 ～ 3] を選ぶ

TONE
MANUAL EQ

RETURN
USER 1

※ **EQ**が点滅します。
※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整し、確定する

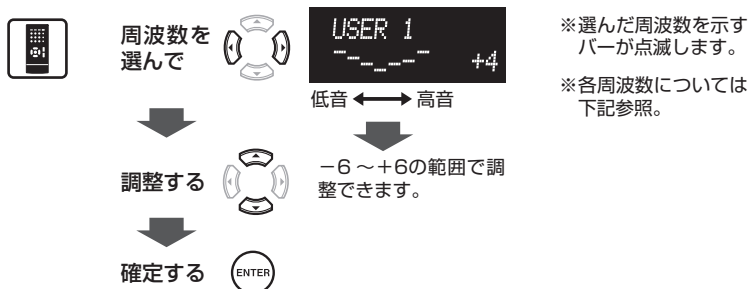
周波数を選んで

※選んだ周波数を示すバーが点滅します。

※各周波数については下記参照。

調整する

－6 ～＋6の範囲で調整できます。

確定する

低音 ↕ 高音

重低音域の調整（63Hz）	このレベルを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりとした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられる場合は、適当と思われる所まで下降させます。
低音域の調整（160Hz）	日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。従って、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。
中低音域の調整（400Hz）	音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられる所です。もの足りない音だと思われる場合は、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。
中音域の調整（1kHz）	この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥に引っ込むような感じになり、臨場感に影響を与えます。音の奥行きと深みに関係する帯域です。
中高音域の調整（2.5kHz）	この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられる所です。うまく調整すれば、爽快さや明るさが出てきますが、反面うるさい感じになることもあります。
高音域の調整（6.3kHz）	この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与える所です。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や、管楽器（フルート、ピッコロなど）が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。
超高音域の調整（16kHz）	この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器（トライアングル、シンバルなど）が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

この操作は本体でも行うことができます。

関連機能 | お好みの音質で聞く P20

より原音に近い音で楽しむ（SUPREME）

USBオーディオプレーヤー、メモリカードのみ。
※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。（90ページ参照）

1 [SPRM] を選び決定する

※**SPRM** が点滅します。
※[RETURN]を選ぶと、前の画面に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選び確定する

スピーカーの左右バランスを変更する（BALANCE）

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。（90ページ参照）

1 [BALANCE] を選び決定する

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 バランスを調整し、確定する

この操作は本体でも行うことができます。

ディスプレイの明るさを調整する（DIMMER SET）
メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT）

DIMMER SETはディスプレイの明るさを3段階で調整できます。お好みやお部屋の状態によって調整してください。

MEMORY FORMATは本機で録音、作成したフォルダや曲ファイルだけでなく、メモリカード内のすべてのデータを消去します。

※消去したデータをもとに戻すことはできません。ご注意ください。

準備

メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT）場合は、音源をメモリカードに切り換えておきます。

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。

SETUP

ディスプレイの明るさを調整する（DIMMER SET）

1 [DIMMER SET]を選ぶ

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 明るさを調整する

DIMMER 1 ↔ **DIMMER 2** ↔ **DIMMER 3** ↔ **DIMMER OFF** ↔ **DIMMER 1**

- DIMMER 1：ディスプレイの明るさが下がります。
- DIMMER 2：ディスプレイの明るさが下がったままLEDが消灯します。
- DIMMER 3：LEDが消灯したままディスプレイの明るさがもとに戻ります。
- DIMMER OFF：ディスプレイ、LEDともにもと通り点灯します。

3 確定する

※確定後、もとの表示に戻ります。

Hint

この操作は本体でも行うことができます。

メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT）

[MEMORY FORMAT] を選ぶ

MEMORY FORMAT
A.P.S.

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 実行するかを選ぶ

MEMORY FORMAT
FORMAT READY

※[CANCEL]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 実行するかを確認する

MEMORY FORMAT
FORMAT OK?

※消去したデータをもとに戻すことはできないので、本当に消去するかどうか再度確認します。
※[CANCEL] を選ぶと、前の表示に戻ります。

4 確定する

※[MEMORY CARDヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

ご注意

データの消去中は、絶対にメモリカードを抜かないでください。故障の原因となります。

■消去が終了すると

MEMORY FORMAT
COMPLETE

[COMPLETE] と表示されます。

※終了後は手順1の表示に戻ります。

この操作は本体でも行うことができます。
本機でMEMORY FORMATしたメモリカードは、他の機器で使えないことがあります。
メモリカードの種類によっては、MEMORY FORMATに時間がかかる場合があります。

関連機能 | リフレッシュ機能でフォルダを整理する P78 | 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P79

オートパワーセーブ機能を設定する（A.P.S.）時計を合わせる（TIME ADJUST）

A.P.S.とはAuto Power Save（オートパワーセーブ）の略で、電源がONでCD、MDが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

準備

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。

SYSTEM SETUP
REC SETUP

オートパワーセーブ機能を設定する（A.P.S.）

1 [A.P.S.]を選ぶ

MEMORY FORMAT
A.P.S.

※**A.P.S.**が点滅します。

2 [ON]または[OFF]を選ぶ

A.P.S.
ON

※**A.P.S.**が点滅します。

3 確定する

※ONの場合は**A.P.S.**が点灯します。

時計を合わせる（TIME ADJUST）

1 [TIME ADJUST] を選ぶ

A.P.S.
TIME ADJUST

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

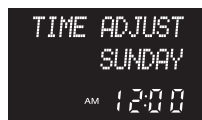
2 曜日、時、分を合わせる

※選ばれている項目が点滅します。

 項目を選んで

合わせます

TIME ADJUST
SUNDAY
AM 12:00

※昼の12:00は [PM12:00]、夜の12:00は [AM12:00] と表示されます。

3 確定する

この操作は本体でも行うことができます。

電源プラグを差し直したり停電があった場合は、もう一度時計を合わせてください。
時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

■電源がOFF（スタンバイ状態）のとき
時刻を表示させるには

 AUTO/MONO   STOP ■ [AUTO/MONO]

※5秒間表示されます。

関連機能 | おやすみタイマーを設定する（SLEEP） P67 | タイマーを使う P68~P73

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● MDに何も録音されていない。
BUFFER OVER	● 74分以内に200曲以上のCDをMDへHIGH SPEED録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。
CAN'T REC	● UTOC＊の内容が異常である。 →「ERASE ALL」を行う。それができない場合は、MDを取り換える。
CHECK DISC	● TOC＊情報を読むことができない。 ● ディスクが正しく挿入されていない。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。 →録音用のMDを入れ換える。一枚のMDには256曲以上録音できない。
Lock　サレテイマス	● メモリカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。
MD WAIT 74min	● 74分以内に同じCDまたは曲をHIGH SPEED録音しようとしている。 →NORMAL SPEEDで録音する。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
MEMORYヲカクニン ヨウリョウガアリマセン	● 録音開始時、メモリカードに録音可能な空き容量がない ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
Normal Speed ニ キリカエテクダサイ	● メモリカードの仕様によっては、メモリカードへの書き込みが追いつかない。
PGM FULL	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 プログラムできるのは32曲まで。
PLAY ONLY	● 再生専用のMDに録音しようとしている。→録音用のMDを入れる。
PROTECTED	● MDが「録音禁止」されている。「録音可能」にする。
RANDOM MODE	● ランダム再生のときに O.T.E.録音をしようとしている。 →ランダム再生を解除する。
READING	● TOC＊情報を読み込んでいる。
SAME TNO.	● 同じ曲を2回以上プログラムしてHIGH SPEED録音しようとしている。 →NORMAL SPEEDで録音する。
SCMS	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。→デジタル録音はできないので、アナログ録音に切り換える。
TEXT FULL	● 1536バイト以上のテキスト情報があるCD-TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。

＊CDとMDには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。TOC 以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

ディスプレイ表示	意　味
TITLE FULL	● MDの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字（「LP：」も含む）まで。 ● USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数はフォルダ、曲ファイルにつきそれぞれ28文字まで。
USB ヲカクニン ヨウリョウガアリマセン	● 録音開始時、USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。
UTOC ERROR	● UTOC＊の内容が異常である。 →「ERASE ALL」を行う。それができない場合は、MDを取り換える。
カード　ガ　アリマセン	● メモリカードが入っていない。 ● メモリカードが正しく挿入されていない。
サイセイ　デキマセン	● 著作権保護付きのファイルを再生しようとしている。
セツゾク　カクニンチュウ	● USBオーディオプレーヤーが正しく接続されていない。 ● USBオーディオプレーヤーとの接続を確立中。
セレクター　ヲカクニン MEMORY　ヘキリカエ	● 音源がMEMORY以外の場合にMEMORY FORMATをしようとしている。 →音源をMEMORYに切り換える。
テンソウ　エラー USB　ヲカクニン	● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。
ファイルガ　アリマセン	● 本機で再生できるファイル（MP3、WMA）がない。
ヘンシュウ　エラー	● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性がある。 →パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤー、メモリカードを確認する。
ヨミコミ　デキマセン	● TOC＊情報を読むことができない。
リフレッシュシテクダサイ	● フォルダ名がAL_Z90番台になっている。 →リフレッシュを行いフォルダ名を整理する。
ロクオン　テイシ ヨウリョウガアリマセン	● メモリカードに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。消したくない場合は、録音用のメモリカードを入れ換える。 ● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。 ● 録音中、作業領域が必要となるため、この表示が出た後でも録音可能な空き容量がある場合がある。
「？」の点滅	● 設定や編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症 状	処 置	参照ページ
音が出ない	● 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ● 音量を上げる。 ● ミュートを解除する。 ● ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。	「お使いになる前に編」12 「お使いになる前に編」28 「お使いになる前に編」28 「お使いになる前に編」14
スタンバイ・タイマーインジケーターの表示が赤く点滅し、音が出ない	● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。	――
スタンバイ・タイマーインジケーターの表示が橙色に点滅する	● 現在時刻をもう一度合わせる。 ● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	97 70
ヘッドホンから音が出ない	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ● 音量を上げる。	「お使いになる前に編」14 「お使いになる前に編」28
スピーカーの片側から音が出ない	● 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ● スピーカーの左右バランスを調整する。	「お使いになる前に編」12 93
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している	● 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。	97
タイマーが作動しない	● 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。 ● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	97 70

チューナー部

症 状	処 置	参照ページ
放送局が受信できない	● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。	「お使いになる前に編」12 22 22
雑音が入る	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。	――
オートプリセット後、P.CALLキーを押しても受信できない	● もう一度オートプリセットする。 ● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	24 26

メモリカード部

症　状	処　置	参照ページ
メモリカードを入れても音が出ない	● メモリカードを正しく入れる。 ● 曲ファイルが入っているメモリカードを入れる。	79
録音が途中で止まる	● メモリカードに録音可能な空き容量がない。不要な曲を消す。消したくない場合は、録音用のメモリカードを入れ替える。	46
録音または編集ができない	● 書き込み禁止スイッチをもとに戻すか、録音可能なメモリカードに取り換える。 ● 録音したい音源に切り換える。	――
録音後、一部のフォルダが見えなくなる	● フォルダ数が200に達しているので、不要なフォルダを消す。	「お使いになる前に編」23
フォルダを削除できない	● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能があります。パソコンと合わせてメモリカードをご確認ください。	――
メモリカード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	● メモリカードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。	――

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	● USBケーブルを正しく接続する。 ● USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	「お使いになる前に編」14
フォルダを削除できない	● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能があります。パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤーをご確認ください。	――

故障かな？と思ったら

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CDを入れても再生できない	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。 ●「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。	8 「お使いになる前に編」30 「お使いになる前に編」30
音声が出ない	● CD(►/II)キーを押す。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	8 「お使いになる前に編」30
音とびがする	●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	「お使いになる前に編」30
CD⏏キーを押しても[LOCKED]と表示され、ディスクが出てこない	● 電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら差し込み直す。	104

MD部

症　状	処　置	参照ページ
再生キーを押しても音が出ない	● 録音済MDまたは再生用MDを入れる。	――
録音ができない	● 誤消去防止つまみをふさぐか、録音可能なMDに取り換える。 ● 録音したい音源に切り換える。 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音に切り換える。	「お使いになる前に編」22 84
録音レベルが低い	● インプット（録音）レベルを調整する。	66
録音後音がひずむ	● インプット（録音）レベルを調整する。	66
MDが入らない	● MD ⏏ キーを押す。 再度MDを入れ直す。	――

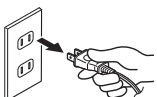
MD部（MD規格上の症状）

症　状	処　置	参照ページ
MDを入れても録音できない	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、表示部の録音残量時間表示は [0:00] になります。	――
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない	● MD全体の残り時間が12秒未満の場合は、表示部の録音残量時間表示は [0:00] になります。 消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。＊1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。	――
曲をつなぐことができない	● 編集処理の結果としてできた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。＊2 ● 他のNet MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲は、つなぐことができません。	――
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。＊3	――
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。	――
トラック（曲）番号が正しく付かない	● 録音した音源（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。	――
[READING] が表示される時間が異常に長い	● 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間[READING] が表示されます。	――
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。	――
タイトルが1792文字入らない	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。	――

＊1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）

＊2 STEREO（ステレオ録音）モード、LP2（ステレオ2倍長時間録音）モード、LP4（ステレオ4倍長時間録音）モード、MONO（モノラル録音）モード

＊3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）

故障かな？と思ったら

D.AUDIO IN端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない	● 別売の専用ケーブル PNC-150で接続する。 ● 非対応モデルを接続している。	「お使いになる前に編」14 11

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。	「お使いになる前に編」19 「お使いになる前に編」19

マイコンをリセットするには

症　状	処　置
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	● 電源がONのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。 次の手順に従い、マイコンをリセットしてください。 ❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。 ❷ 再度本体のPOWERキーを押しながら、電源プラグを差し込み直します。 ❸ INITIALIZE マイコンをリセットすると左記のディスプレイが表示されます。 ※リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

用語集

用　語	意　味	ページ
CD-DA	音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指す。	「お使いになる前に編」20
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された音楽CDの呼称。	8
Hi MD	これまでのMDと再生の互換性があり、録音時間を最大45時間まで拡張したもの。本機では対応していません。	「お使いになる前に編」20
MD-Clip	これまでのMDに静止画像を記録できるようにした規格の呼称。	「お使いになる前に編」20
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11(128kbps)に圧縮することができる。	「お使いになる前に編」21
Net MD	パソコン上の音楽データをUSB経由でMDに転送する規格。	53
SDHC	4GB以上の容量を持つSDメモリカードの上位規格。 本機では対応していません。	「お使いになる前に編」20
USBハブ	複数のUSB機器を同時に接続するためのアダプター。	「お使いになる前に編」21
USBマスストレージクラス	パソコンにUSB機器を接続するための規格。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。	「お使いになる前に編」14、21
VBR (可変ビットレート)	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。	「お使いになる前に編」33
WMA	Microsoft社が開発した音声圧縮方式で、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/22(64kbps)まで圧縮することが可能。	「お使いになる前に編」21
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となる。	「お使いになる前に編」21
チェックアウト	パソコンからNet MD対応機器を使ってMDへ音楽データを転送すること。	53
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となる。	「お使いになる前に編」21